

平成31年第1回柳津町議会定例会会議録

第2日 平成31年3月7日（木曜日）

1. 出席議員は次のとおりである。

1番 岩 渕 清 幸	6番 小 林 功	9番 田 崎 為 浩
2番 磯 目 泰 彦	7番 菊 地 正	10番 鈴 木 吉 信
3番 伊 藤 純	8番 齋 藤 正 志	11番 伊 藤 昭 一
5番 田 崎 信 二		

2. 欠席議員は次のとおりである。

な し

3. 地方自治法第121条の規定により出席を求められ、出席した者は次のとおりである。

町 長 井 関 庄 一	地域振興課長 菊 地 淳 一
副 町 長 矢 部 良 一	建 設 課 長 横 田 勝 則
総 務 課 長 角 田 弘	教 育 長 目 黒 健 一 郎
出 納 室 長 新 井 田 理 恵	教 育 課 長 横 井 伸 也
町 民 課 長 金 子 佳 弘	公 民 館 長 天 野 美 穂

4. 会議に職務のため出席した者の職氏名。

議会事務局長 舩 木 慎 弥 主 査 早 川 直 美

5. 会議事件は次のとおりである。

日程第 1 議案第29号 平成30年度柳津町一般会計補正予算
日程第 2 議案第30号 平成30年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算
日程第 3 議案第31号 平成30年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算
日程第 4 議案第32号 平成30年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算
日程第 5 議案第33号 平成30年度柳津町介護保険特別会計補正予算
日程第 6 議案第34号 平成30年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算
日程第 7 議案第35号 平成30年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算

- 日程第 8 議案第 36 号 平成 30 年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算
- 日程第 9 議案第 37 号 平成 30 年度柳津町下水道事業特別会計補正予算
- 日程第 10 議案第 38 号 平成 30 年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算
- 日程第 11 議案第 39 号 平成 30 年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算
- 日程第 12 議案第 40 号 平成 31 年度柳津町一般会計予算
- 日程第 13 議案第 41 号 平成 31 年度柳津町土地取得事業特別会計予算
- 日程第 14 議案第 42 号 平成 31 年度柳津町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 15 議案第 43 号 平成 31 年度柳津町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第 16 議案第 44 号 平成 31 年度柳津町介護保険特別会計予算
- 日程第 17 議案第 45 号 平成 31 年度柳津町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第 18 議案第 46 号 平成 31 年度柳津町町営スキー場事業特別会計予算
- 日程第 19 議案第 47 号 平成 31 年度柳津町農業集落排水事業特別会計予算
- 日程第 20 議案第 48 号 平成 31 年度柳津町下水道事業特別会計予算
- 日程第 21 議案第 49 号 平成 31 年度柳津町簡易排水事業特別会計予算
- 日程第 22 議案第 50 号 平成 31 年度柳津町林業集落排水事業特別会計予算

◎開議の宣告

○議長

ただいまから本日の会議を開きます。（午前10時00分）

本日の議事日程はお手元にお配りのとおりであります。

これより議事に入ります。



◎議案の審議

○議長

お諮りいたします。

日程第1、議案第29号「平成30年度柳津町一般会計補正予算」

日程第2、議案第30号「平成30年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算」

日程第3、議案第31号「平成30年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算」

日程第4、議案第32号「平成30年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算」

日程第5、議案第33号「平成30年度柳津町介護保険特別会計補正予算」

日程第6、議案第34号「平成30年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算」

日程第7、議案第35号「平成30年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算」

日程第8、議案第36号「平成30年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算」

日程第9、議案第37号「平成30年度柳津町下水道事業特別会計補正予算」

日程第10、議案第38号「平成30年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算」

日程第11、議案第39号「平成30年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算」

については、いずれも関連がありますので一括上程し議題といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、議案第29号、議案第30号、議案第31号、議案第32号、議案第33号、議案第34号、議案第35号、議案第36号、議案第37号、議案第38号、議案第39号は一括上程し、議題といたします。

提案者に提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（登壇）

皆さん、おはようございます。

議案第29号「平成30年度柳津町一般会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要額の見込みによる歳入歳出予算及び継続費の補正、繰越明許費の設定、債務負担行為並びに地方債の補正であります。

次に、議案第30号「平成30年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、桐ヶ丘分譲地の測量設計委託の減による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第31号「平成30年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要見込み等による事業勘定及び施設勘定の歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第32号「平成30年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第33号「平成30年度柳津町介護保険特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第34号「平成30年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正及び地方債の補正であります。

次に、議案第35号「平成30年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第36号「平成30年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第37号「平成30年度柳津町下水道事業特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第38号「平成30年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第39号「平成30年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算」について提案理由の説明をいたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

なお、詳細につきましては総務課長より説明をさせますので、よろしくご審議お願いをいたします。

○議長

補足説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（登壇）

おはようございます。

それでは、今回の補正予算につきまして補足してご説明を申し上げます。

まず、今回の補正予算につきましては、全会計につきまして歳入では額の確定に伴う増減、歳出におきましては今後の見込み等を考えまして、あとは歳入の減に伴う歳出の減というようなものもございまして、そのような形で計上させていただいておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、まず1ページをお開きください。

議案第29号「平成30年度柳津町一般会計補正予算（第8号）」でございます。

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ29億4,040万7,000円を減額するものでございます。総額といたしまして41億1,288万8,000円。先ほど減額の額を間違えました。2億9,440万7,000円でございます。失礼いたしました。

続きまして、2条といたしまして継続費の補正でございます。継続費の補正を2表で願いますのでございます。

3条といたしまして、繰越明許費を新しく願いますのでございます。

4条といたしまして、30年度当初予算で設定をいたしました債務負担行為の変更を願いますのでございます。

地方債の補正といたしましては、当該年度の地方債補正を願いますのでございます。

6ページをお願いいたします。

第2表 継続費の補正でございます。

本年度当初予算で設定いたしました継続費につきまして、年割額あるいは総額が変更となりましたので、継続費の補正をお願いするものでございます。

消防費、消防費の事業名としてデジタル防災行政無線施設整備事業でございます。これにつきましては、入札の入札率の減額に伴います大きな工事費の減額ということで、総額の補正並びに年割額の補正をお願いするものでございます。総額として2億9,760万1,000円の減額となっております。

続きまして、次のページをお開きください。

繰越明許費でございます。

繰越明許費につきまして、4款民生費の社会福祉費につきましてはゲートボール場の補助金の繰越明許をお願いするものでございます。5款農林水産業費の林業費におきまして、林道藤塩峯線についての開設事業2,910万円について繰越明許をお願いするものでございます。同じく林道の新鶴柳津支線改良事業でございますが、1,350万円をお願いするものでございます。土木費の道路橋梁費につきまして道路維持管理事業で町道長坂砂子原線について280万円の繰越明許並びに消雪設備維持管理事業で3,005万円、下ノ湯五畳敷線改良事業で1,004万円、道路ストック総点検事業で1,600万円、道路新設改良事業、町道安久津4号線（仮称）他2路線ということで1,000万円、鶺鴒工業団地線改良事業で1,373万円をお願いするものでございます。住宅費といたしまして、町営住宅建設工事敷地造成事業で8,509万円。教育費の小学校費で、柳津小学校空調設備設置事業で3,630万円、西山小学校空調設備設置事業で3,410万円、中学校費といたしまして、会津柳津学園中学校空調設備設置事業で3,190万円、合わせまして13事業13件で3億1,741万円の繰越明許費をお願いするものでございます。

次のページになります。4表でございます。

債務負担行為の補正でございます。これにつきましては、30年度当初予算で31年度以降の債務負担行為について50万8,000円と限度額を設定させていただいたところではございますが、借入者の確定に伴いまして今後の債務負担については18万円を済むという形になりましたので、32万8,000円を減額するものでございます。

続きまして、次の9ページをお開きください。

第5表の地方債補正となります。

広域消防負担金事業でございますが、これにつきましては、総額といたしまして20万円の限度額を引き下げるものでございます。広域の高規格の救急自動車等の購入費の負担金とい

う部分での減額でございます。

続きまして、消防設備事業費で緊急防災・減災債でございますが、1億3,510万円という大きな減額補正となっておりますが、これに含まれておりますのが、先ほど債務負担行為でも申しあげましたデジタル防災行政無線等が含まれてございますので、その入札差金に伴うものが大きな理由となっております。

町道五畳敷大成沢線の整備事業でございますが、総額として20万円の減、続きまして、鳥屋居平整備事業でございますが、総額で50万円の減、消防施設整備事業でございますが、減額額が60万円、これは塩野の防火水槽に伴う工事費確定に伴うものでございます。

続きまして、通信ネットワーク整備事業につきましては公衆の無線LAN、これにつきましても発注済みとなっておりますので、それに伴う見込みで60万円の減をさせていただきました。

次の10ページになります。

簡易水道統合整備事業につきましても、額の確定に伴いまして1,180万円の減額、林道藤塩峯線林道開設事業につきましても、事業の見直しに伴いまして起債で810万円の減額となっております。

町営住宅整備事業でございますが、これにつきましては、工事費の確定等に伴いまして1,650万円の減でございます。

町道下ノ湯五畳敷線整備事業でございますが、これも額の確定等に伴うものという部分で310万円の減となっております。

広域消防負担金事業でございますが、これにつきましては、会津坂下消防署の新築工事ほか等で広域に対する負担金という部分でございますが、これも額の確定に伴いまして20万円の減額となっております。

会津柳津学園中学校の施設改良事業でございますが、これにつきましては、グラウンド等の改修工事について額の確定に伴います780万円の減額となったところでございます。

総額といたしまして、9億2,920万円が7億4,450万円ということで、1億8,470万円の減額をお願いするものでございます。

13ページをお願いいたします。

歳入となります。

町税、町民税、法人税でございますが、現年度課税といたしまして153万5,000円の減額、これにつきましては、今後の決算については既に決算が確定いたしました。それに伴いまし

て153万5,000円の減額をお願いするものでございます。

固定資産税につきましては、前年度滞納繰越分について既に4万円については歳入済みとなっておりますので、それについて補正をお願いするものでございます。

地方交付税については、追加交付分という形で額が確定いたしましたので、211万1,000円の追加をお願いするものでございます。

分担金及び負担金の分担金の中で、農地等災害復旧分担金につきましては、小柳津の農地施設災害の水路分でございますが、額の確定に伴います追加というか、歳入の増というふうになります。

次のページになります。

負担金でございます。民生費負担金で112万5,000円の増額補正をお願いするものでございますが、この中で大きな増額の理由となっておりますのが、3節の現年度分の保育所入所負担金、その中で広域入所負担金という形で書かれていると思いますが、これにつきまして郡山市、会津若松市からの子供さんを柳津保育所で受け入れたということになっておりますので、その2人分に対する広域の負担金という部分で事務費であったり保育料であったりという部分でいただいているという部分でこれが大きな増の理由となっております。

続きまして、教育費負担金につきましては、学校給食センターの運営については当該年度から始まったというところでございます。当初予算についてはあくまで見込みという部分で分担金等をとらせていただきましたが、今回実績がある程度確定いたしますので、それに伴う三島町からの分担金の減というところでございます。

続きまして、使用料及び手数料の使用料でございます。土木使用料につきましては、総額として104万円の減額となっております。この大きな理由といたしましては3節の現年分の住宅使用料、これにつきましては、住宅の使用料について減免等を行ったということがございますので、そういうものの収入の減というのが大きな理由となっております。

続きまして、次の15ページになります。

教育使用料でございますが、補正額として50万6,000円ということでございますが、これにつきまして大きな理由といたしましては、美術館入館料の30万円の増、あとは海洋センター体育館の使用の見込みという部分で16万3,000円の増というものを合わせまして、総額として50万6,000円の増となったところでございます。

続きまして、手数料でございますが、総務手数料では、合計して18万1,000円の減額となっております。これにつきましては、窓口の戸籍手数料から住基カードの発行手数料まで見

込みを立てさせていただきまして総額として減額となったところでございます。

土木手数料につきましては、屋外広告物の手数料について申請がなかったという部分で減額とさせていただくものでございます。

続きまして、次のページになります。

国庫支出金、国庫負担金の民生費国庫負担金でございます。総額で448万1,000円の減額となったところでございますが、大きな理由といたしましては、1節の障害者福祉費の負担金という部分で446万1,000円という部分でございますが、その中の障害者自立支援の給付金の負担金、これは歳出の扶助費のほうで減額となってございますので、それに伴う国庫・県費分等のルール分の減額というところでございます。あわせて、その下の児童手当についても同様の考え方で歳出のほうと連動しておりますので、歳出が増加となったものについては歳入も増、歳出で減となったものについては減という形になってございます。

続きまして、次の国庫補助金でございます。

次の国庫補助金でございます。

総務費国庫補助金で104万7,000円という減額となっておりますが、これにつきましては、総務費補助金の中の地方創生推進交付金という部分で100万円、これは事業といたしましては地域振興課のほうで実施を予定しておりました起業者支援という部分で100万円を見込んでおりましたが、どなたもいらっしゃらなかったという部分で歳入が減額となるところでございます。

民生費国庫補助金については76万4,000円、これにつきましても、同様の歳出の減額に伴うものでございます。

続きまして、次のページをお願いいたします。

衛生費国庫補助金につきましては、額の確定に伴います13万5,000円の増でございます。

土木費国庫補助金につきましては、合併浄化槽の額の確定に伴います増でございます。

教育費国庫補助金につきましては、額の確定に伴います歳入の減という形になってございます。

続きまして、国庫委託金でございます。

総務費国庫委託金並びに民生費国庫委託金につきましては、額の確定に伴いますそれぞれ増とさせていただいたところでございます。

県負担金につきましては、民生費県負担金につきましても、先ほどの国庫負担金と同様に、給付見込みに伴います増減をさせていただいた総額としまして1万5,000円の減額をお願い

するものでございます。

18ページになります。

総務費県補助金につきましては、80万円の減。これにつきましては、県外からの移住者で新築住宅、空き家等の改修等を行った場合に80万円を支給しますよという部分がございますが、どなたもいらっしゃらなかったという部分で80万円を減額するものでございます。

民生費県補助金につきましては、総額で40万6,000円の減額をお願いしているものでございます。それぞれ給付見込みに伴います歳入の減となったところでございます。

次のページをお願いいたします。19ページになります。

衛生費県補助金でございます。総額といたしまして54万3,000円の減額をお願いするものでございます。それぞれ医療費等の補助金の見込みという部分で減額をお願いするものでございます。

農林水産業費県補助金で1,326万5,000円の大きな減額補正となっておりますが、この大きな理由といたしましては、林業費補助金の部分でふくしま森林再生事業補助金という部分で893万2,000円。これは歳出のほうでも減額となっておりますので、それに伴います歳入の減が大きな理由でございます。

商工費県補助金につきまして92万3,000円の減額補正という部分でございますが、これにつきましては、商工費のほうの福島県の消費者風評対策の部分での84万1,000円の事業費の減額に伴います歳入の減でございます。

次のページになります。

土木費県補助金並びに教育費県補助金につきましては、それぞれ補助金の見込みの減、教育費についてはサポート事業の額の見込みに伴う減という形でございます。

県委託金でございます。

総務費県委託金につきましては、169万3,000円の減額となっておりますが、大きな理由といたしましては県知事選挙の委託金の減額、本年度から投票区の見直しを実施したという部分がございますので歳出のほうで減額をされておりますが、歳入のほうでも当然10分の10の歳入となりますので減額となっているというところでございます。

土木費県委託金につきましては、それぞれの見込みに伴います減でございます。

教育費委託金につきましては、これにつきましても、それぞれ今後の見込みを立てたところ総額として93万円の減額となったところでございます。

続きまして、21ページになります。

財産収入、財産売払収入でございます。

不動産売払収入につきましては149万2,000円の減額となったところでございますが、これにつきましては、当初予算で森林再生事業の中で大成沢の入大谷滝の公有林について売り払いの見込みを立てておりましたが、額が確定をいたしましたのでこの減額とさせていただくものでございます。

物品売払収入につきましては20万円の増額でございますが、これは、旧給食センターの仮設部分として温水器2台を昨年度設置させていただきました。それについて2台、少額ではございますが売り払いすることができたという部分で20万円をお願いするものでございます。

続きまして、基金繰入金でございます。総額として7,600万円の減額を見込むところでございます。財政調整基金の7,000万円についてが、一番大きな見込みの減となったところでございます。これにつきましては、歳出総額を勘案いたしまして基金の繰入額を見させていただきます。

次の22ページになります。

諸収入の延滞金加算金及び過料でございますが、延滞金につきましては、今の額の既に入っているものプラス見込みという部分で8万円を補正するものでございます。

諸収入の雑入でございます。

弁償金で5万7,000円という形でございますが、これは道路の工作物について、今回の議案で専決処分をさせていただきましたという部分で提案させていただいておりますが、その弁償金として個人からいただくものでございます。

雑入といたしまして、総額として138万円の減額となっております。大きなものとしたしましては、雑入の中でコミュニティ助成事業の中で地域防災組織育成助成事業と言われるものでございますが、これは、見込んで申請をしたところではございましたが採択に至らなかったという部分でございましたので、歳出並びに歳入を減額させていただくものでございます。

次のページに移りまして、23ページ、町債でございますが、これにつきましては地方債の補正のほうでご説明申し上げましたので、省略させていただきます。

続きまして、歳出となります。24ページになります。

議会費でございます。議会費といたしましては、総額として37万円の減額補正をお願いするものでございます。これにつきましては、全て今後の見込み等を立てさせていただきまして37万円の減額をお願いするものでございます。

総務費、総務管理費の一般管理費で75万5,000円の減額補正をさせていただくものですが、これにつきましては、額の確定あるいは今後の見込みというものでお願いするものでございます。

続きまして、次の25ページになります。

文書広報費につきましても、報酬につきましては額の確定、見込み、旅費については費用弁償、今後の見込みを立てまして6万2,000円の減額とさせていただきました。

財政管理費でございます。307万4,000円の減額でございますが、これにつきましては、土地会計——土地取得事業特別会計の繰出金の300万円を減額するものでございます。これにつきましては土地会計のほうでご説明申し上げます。

財産管理費につきましては、13万1,000円の減額という部分でございます。これにつきましても見込みでございます。

企画費といたしまして1,098万8,000円の減額となったところでございますが、大きな減額の理由といたしましては、次の26ページの負担金補助及び交付金の中の住宅新エネルギーシステムの設置補助金96万円、本年度から設置をいたしました地域づくり推進事業交付金、どなたもありませんでしたので減額となります。次のページにいきまして、空き家等の関係に関する部分について、それぞれ今後の見込み、実績等を勘案したところ、減額となったというところでございます。

支所及出張所費でございます。124万円の減額でございますが、これは今の総合庁舎についての設計額の確定に伴います減額でございます。

交通安全対策費でございますが、16万3,000円の減となったところでございます。これにつきましては、額の確定あるいは今後の見込みということで減額をさせていただいたところでございます。

後継者緊急対策費51万5,000円でございますが、これにつきましては、結婚祝金の今後の見込みという部分と委託料につきましては額の確定に伴いまして、合わせて減額をさせていただいたというところでございます。

電算管理費につきましては、それぞれ見込みあるいは委託料については額の確定という部分で減額をお願いして11万8,000円となったところでございます。

28ページになります。

行財政改革推進費でございますが、これにつきましては、額の確定に伴います減額です。

庁舎管理費で58万6,000円の増額補正をお願いするものでございますが、これにつきまし

ては、委託料につきましてはそれぞれ額の確定に伴いまして40万7,000円の減額をさせていただいておりますが、備品購入費といたしまして庁用備品と書いておりますが、1階・2階にありますシュレッダー、町のやはりどうしても細かく切り刻まないごみとして排出することができないような文書がいろいろございますので、シュレッダーが昨年度より故障しておりますので、今回補正をお願いをして当該年度で整備をしていきたいという部分でお願いするものでございます。

町民バス管理費につきましても、55万円の追加補正をお願いするものでございますが、これにつきましては、報償費から委託料の中で需用費に関してのみ修繕費という部分で排ガス規制のかかっているバス2台がございまして、その故障等がございまして、今、代車等でずっと走っておりましたが、その修繕費の額の確定という部分がございましたので、98万3,000円の増額をお願いするものでございます。

続きまして、次のページになります。

徴税費になります。徴税総務費については額の確定に伴う減額となったところでございます。賦課徴収費につきましては、額の見込み等で68万円を減額するものでございます。

戸籍住民基本台帳費につきましても、役務費から負担金補助及び交付金までございますが、額の見込み、あるいは確定という部分で15万円を減額させていただくものでございます。

次の30ページ、選挙費となります。

選挙管理委員会費につきましては、委員の旅費という部分で額が確定いたしましたので、減額とさせていただくものでございます。県知事選挙につきましては、総額として175万8,000円の減額とさせていただくものでございます。これにつきましては、報償費から、次のページにいけますが、備品購入費までそれぞれ額の確定という部分で減額となったところでございます。

31ページ、民生費、社会福祉費の社会福祉総務費で154万円の増額をお願いするものでございますが、これにつきましては、国保会計の事業勘定への繰り出しという部分での所要増、これにつきましても特別会計のほうでご説明申し上げます。

老人福祉費、306万円の大きな減額となっておりますが、これにつきましても、大きなものとしたしましては、次のページになりますが、繰出金という部分での介護特別会計への繰出金の106万5,000円の減額、それ以外につきましては今後の見込みあるいは額の確定に伴うものという部分で減額をしているものでございます。その中で負担金補助及び交付金の欄で19節になりますが、介護保険低所得者利用補助金19万9,000円、これだけにつきましては

利用者の増というか、所得が低い方の利用者がふえているという部分で19万9,000円円の増額をお願いするものでございます。

続きまして、32ページになります。

障害者福祉費で、合わせまして1,118万4,000円の大きな減額となったところでございますが、これにつきましては委託料で合わせまして、これは見込みの部分もありますが、218万3,000円ほど、次のページにいきまして扶助費という部分で見込みといたしましてそれぞれ減額となったところでございます。なお、自立支援、補装具と地域生活支援と言われるもの、あとは障害児の給付費、これにつきましては見込みの中で若干増額補正がされるという状況になってございます。

続きまして、33ページになります。

児童福祉費の児童福祉総務費でございます。今後の見込み等を立てさせていただきまして、報償費から負担金補助及び交付金までで合わせて5万5,000円の減額となったところでございます。

柳津保育所運営費でございます。合わせて105万9,000円でございますが、大きな減額の理由といたしましては、今後の見込みを立てて、次のページになりますが賃金等で143万5,000円という部分で大きな減額となったところでございます。なお、この中で需用費につきまして49万7,000円の増額補正をお願いしているところでございますが、これは床暖房用のコントローラーの遊戯室並びに事務室分の修繕費に伴うものでございます。

続きまして、34ページの西山保育所、24万4,000円でございますが、これにつきましては、今後の見込みを立てさせていただきまして24万4,000円という部分で減額をお願いするものでございます。

児童措置費につきましても、同じように今後の見込みに伴いまして57万9,000円の減額となります。ここが児童手当等の支給をしている支出科目になってございます。

続きまして、学童保育でございます。75万7,000円の減額をお願いするものでございますが、共済費、賃金だけで合わせて75万7,000円という部分での減額をお願いするものでございます。

次のページをお開きください。35ページになります。

母子福祉費でございます。これにつきましても、ひとり親の分で見込みを立てさせていただきまして1万3,000円の減となったところでございます。

衛生費、保健衛生費の保健衛生総務費でございます。965万円の減額となっておりますが、

これにつきましては、国保施設勘定への繰出金の減が大きな理由となります。これも特別会計のほうでご説明申し上げます。

予防費375万3,000円でございます。これにつきましても、今後の見込み等を立てさせていただきまして減額をさせていただいたというところでございます。この中で、需用費等で消耗品費等で10万8,000円という部分で増額をお願いしているところではございますが、これにつきましては、疾病予防対策事業費の補助金というものを受け取っております。それにつきまして満額使えるようにしたいという部分ではございましたので、消耗品のほうでとりましてチラシ等を整備していきたいという部分で、今回歳入の確定に伴いまして歳出をここで増額させていただいたというところでございます。

続きまして、次の36ページになります。

環境衛生費につきましては、1,805万5,000円の減額とさせていただいたものです。これにつきましては、繰出金等の減額が大きな理由となっております。

続きまして、母子保健費でございます。103万円でございますが、これにつきましては、今後の見込みを立てさせていただきまして、報償費から次のページの償還金利子及び割引料という部分まで合わせて100万3,000円の減額をお願いするものでございます。37ページになりますが、扶助費といたしまして子どもの医療費の助成分として見込みで31万1,000円という部分をお願いをしたいという部分と、償還金利子及び割引料ということでございますが、国庫補助金の部分で産後ケア部分での実績がございませんでした。昨年度ゼロという部分でございましたので、昨年度いただいておりました補助金を今回お返しをするという部分で11万6,000円をお願いするものでございます。

清掃費でございます。塵芥処理費でございますが、45万1,000円、これにつきましては、今後の見込みということで減額とさせていただきました。衛生処理費につきましても、同じようにし、尿の投入手数料の見込みという部分で減額をさせていただいたところでございます。

38ページになります。

農林水産業費、農業費、農業委員会費につきましても、今後の見込みという部分で減額をさせていただいたというところでございます。

農業総務費につきましても、備品購入費、これは庁車でございますが、購入確定に伴います減でございます。

農業振興費で483万円という部分で減額とさせていただいたところではございますが、こ

これは報償費から、ずっといきまして40ページの負担金補助及び交付金という部分でございますが、ここまでの総額の中で483万円の減額をお願いしたというところでございます。なお、今回大きく落ちている部分については、地域おこし協力隊分について見込んでいた部分についての減額であったり、負担金補助及び交付金の部分については、それぞれの負担金の額の確定という部分がありまして大きく減額となっております。その中で今回ふえている部分でございますが、需用費で印刷製本費が増額となっております。これにつきましては、今回中山間地域の農業ルネッサンス事業という部分の歳入を受けて歳出予算の補正をお願いしたという部分がございます。その中で、この予算につきましては全て町のほうで使い切りをしたいという部分でございましたので、それぞれの今後の見込みを立てまして、使い切れない部分について需用費の印刷製本費のほうに組み替えまして、6次化関係に対するパンフレットであったりというものを整備していきたいという部分で、今回ここでお願いするものでございます。

続きまして、40ページになります。

農地費で27万3,000円の減額をお願いするものでございます。これにつきましては、負担金補助及び交付金で額の確定に伴います減額、並びに償還金利子及び割引料でございますが、これは、多面的機能支払交付金という部分で多面的の部分で多くもらっていたという部分が県の検査の中でわかりまして、26年から29年までの確定に伴いまして1万1,000円分を返還するものでございます。それに伴います補正というところでございます。

地域農政特別対策事業費206万6,000円の減額となっておりますが、これにつきましては、賃金から次のページの負担金補助及び交付金までという部分で見込ませていただきまして総額として206万6,000円の減額となったところでございます。

41ページをお願いいたします。

農村総合整備費で46万8,000円、これにつきましては、簡易排水事業の特別会計への繰り出しという部分での減です。これについても特別会計でご説明申し上げます。

国土調査費で30万円の減となっておりますが、これにつきましては、それぞれ見込みに伴います減でございます。

中山間地域等直接支払事業費でございますが、集落の補助金の額の確定に伴います27万6,000円の減額です。

林業費でございます。

林業総務費については見込みで1万7,000円、林業振興費で1,039万7,000円の減額という

ところでございますが、これにつきましては、歳入のほうでもご説明申し上げましたとおり、一番大きい理由といたしましては、委託料の中であります計画策定業務の委託並びに森林整備事業の委託の減額、これが森林整備に係るものでございますのでそれが大きなものでございます。それと、今回補正で需用費等が増額となってございますが、これについては、当初予算で鳥獣被害対策の強化補助金という部分で県のほうから200万円をいただくというふうになってございました。その中で、年度当初から賃金という部分で雇用していたわけですが、個人の方の身体的な理由がございまして途中でおやめになったということがございました。しかしながら、その200万円に対しての支出について町として全額を利用したいという考え方でございますので、これを需用費あるいは備品購入費となりますが、組み替えをいたしまして、消耗品の中では電気柵の資材等を購入したいと。備品購入費では電気柵本体を購入したいというような考え方で、今回ここで予算の組み替えという形になりますが、それぞれお願いをしたいという部分でございます。

続きまして、次のページになります。

43ページの積立金でございますが、22万6,000円とございます。これにつきましては、森林環境整備の積立金となりますが、これについては環境税の交付金の残額の積み立てを基金に積み立てをしたいという部分でございます。

林道費で662万9,000円の減額となっておりますが、これにつきましては、工事請負費の部分での林道の藤塩峯線の部分の800万円という大きな減額があったという部分でございます。その上の林道改良工事で200万円の増額をお願いしたわけでございますが、これにつきましては、林道の新鶴柳津線の設計の部分で繰越明許をお願いしたところではございますが、それに必要な額という部分で今回200万円の増額をお願いしたいというところでございます。

林道維持費で164万1,000円の減額をお願いするものでございます。これにつきましては、緊急雇用対策という部分で雇用をしておりましたが、その額の確定に伴うものという部分で共済費から備品購入費までの総額となったところでございます。

次のページになります。

44ページ、商工費の商工振興費でございます。505万3,000円の減額となったところではございますが、大きな理由といたしましては、負担金補助及び交付金の中で起業者支援事業の補助金200万円、小規模事業者後継者支援事業補助金の170万円が皆減となったような部分でございますので、大きな減額の理由でございます。

観光費で1,220万1,000円という部分で減額となっておりますが、これにつきましては、

地域おこし協力隊の見込んでいた方が今回雇用がなかったという部分でそれに伴います減額補正という部分と、あとはそれぞれの事業を実施した、イベント等の実施したものに伴いますの実績という部分での額の確定という部分と、次の45ページになりますが、スキー場特別会計への繰出金の減627万円、これも大きな理由となっています。これにつきましては、特別会計のほうでご説明申し上げます。

次の46ページになりますが、土木費の道の駅管理費でございます。16万1,000円、今後の見込みを立てさせていただいての所要減でございます。

道路橋梁費でございます。道路維持費で86万9,000円の総額として減額でございますが、これにつきましては需用費でございますが、需用費につきましては、逆に281万1,000円の増額をお願いしたいというところでございます。増額の部分といたしましては、修繕費で275万9,000円。除雪機械等につきまして、年数が経過いたしますとやはり修繕費がかさんでまいります。そういう機器等がございまして、来年度も当初予算のほうで更新を見込んでいるわけですが、なかなか年数がたってきますと経費がかかってくるという部分と、燃料費でございますが101万5,000円を見込ませていただきました。

本年度につきましては、このような雪が少ないという状況でございますので、除排雪した場所の雪の、農地であったりそういうところからかたすというものをなるべく早く、年内にやれないかという部分でこの燃料費の増加、そのために重機を動かすための経費としてお願いをしたいというところでございます。光熱水費といたしましては、トンネルあるいは消雪の電気料の部分に伴う増額を48万7,000円ほどお願いしたい。これにつきましては、トンネル内の照明について、ある程度暗いという部分がありましたので照明をつけたという部分になりましたので、少し増額になったのかと考えてございます。次のページにいきまして、工事請負費につきましては、維持費の見込みという部分で355万2,000円の減額となったところでございます。

道路新設改良費になりまして、トータルといたしまして398万2,000円の減額となったところでございますが、これにつきましては、それぞれ見込みあるいは額の確定という部分で減額となったところでございます。

続きまして、河川費につきましては、財源の補正でございます。

48ページになります。

都市計画費、下水道費の180万1,000円、これは負担金等の額の確定に伴うもの並びに下水道事業特別会計繰出金の減に伴うものでございます。

住宅費でございます。

公営住宅管理費で56万7,000円の増額をお願いしたいというところでございますが、これにつきましては、役務費、委託料、負担金についてはそれぞれ額の確定、見込みという部分で減額をさせていただきましたが、今実施している太平団地2号棟の壁面の部分でございますが、その変更増の部分を見込みまして130万円ほどお願いをしたいという部分でございます。なお、工期については、3月25日までの工期となっております。

公営住宅整備等事業費でございますが、これにつきましては1,681万8,000円の減額となったところでございます。これの大きな理由といたしましては、移転補償費のほうの1,650万円という部分と建築申請の部分での見込みの減でございます。

次のページをお願いいたします。49ページになります。

消防費の非常備消防費で143万7,000円の減額となったところでございますが、これにつきましては、報酬から負担金補助までのそれぞれの減額という部分での見込みという部分でさせていただきました。

次のページでございます。

消防費の消防施設費でございますが、これにつきましては642万6,000円の減額となったところでございます。これにつきましては、委託料あるいは工事請負費については額の確定に伴う減でございます。備品購入費につきましては、額の確定あるいは補助金がつかなかったという部分でございますので、補助金のつかなかったことに伴う消防用備品購入費120万5,000円が歳入でつかなかった部分に対する歳出の減でございます。

防災費で1億3,527万3,000円の減額となったところではございますが、これにつきましては、防災行政無線等の入札差金に伴います大きな減があったというところでございます。委託料関係の減と工事請負費の減という部分でございます。

続きまして、広域消防費につきましては、財源の補正となっております。

51ページの教育費、教育総務費の教育委員会費につきましては、今後の見込みという部分で旅費の減額となったところでございます。

事務局費につきましては101万7,000円、これにつきましては、報酬から次のページの負担金補助及び交付金までということそれぞれ見込ませていただきました。その中で、大変申しわけございませんが、外国人の招致分の給料でございますが、これにつきましては本年度4年目というふうになっておりまして、給料月額が5,000円ほど増加するというを当初予算の中で少し計算ミスをしていたという部分が発覚いたしまして、今回2万円ほど増加を

しませんと3月分の支給ができないというふうになりましたので、給料で大変申しわけございませんが2万円の増額をお願いしたいというところでございます。それと、52ページのほうで負担金補助及び交付金という部分でございまして、両沼方部中学校体育連盟負担金2,000円の増、これは額確定でございまして。それと、会津坂下とか補助金等の額の確定、増額確定に伴う増、それと一番大きいのが通学の補助金、会津バス等で通学している子供さんに対するものでございまして、それに対しての増額分という部分で31万8,000円ほどお願いしたいというところでございます。

次の53ページになります。

小学校費でございまして。小学校費、柳津小学校管理費、西山小学校管理費につきましては、財源補正となったところでございまして。柳津小学校教育振興費につきましては、今後の見込みを立てさせていただきましてそれぞれ合わせて9万1,000円、西山小学校教育振興費につきましても、見込みということで5万2,000円の減額となります。

中学校費でございまして。会津柳津学園中学校管理費でございまして。33万8,000円の増額をお願いしたいというところでございまして、これにつきましては、燃料費の部分で18万8,000円ほど、それと電気料の部分で20万4,000円ほど増額をお願いしたいというところでございまして。これは、今までの実績等を見まして今後の見込みを立ててこれくらい必要であるというふうに計算されたという部分でございまして、よろしくお願いしたいと思います。

続きまして、会津柳津学園中学校教育振興費でございまして。196万6,000円の減額となったところではございまして、これにつきましては、共済費あるいは賃金、使用料及び賃借料という部分で見込みの中での減額となったところでございまして。

続きまして、次の54ページになります。

社会教育費、社会教育総務費でございまして、379万2,000円の減額となっております。大きな減額の理由といたしましては、負担金補助及び交付金の中で海外派遣事業の補助金の額の確定に伴います339万4,000円という部分が大きな理由となっております。

次のページをお願いいたします。

55ページの公民館費でございまして。109万円の減額となっております。これにつきましては、共済費から負担金補助及び交付金までそれぞれ見込みを立てさせていただきまして総額として減額となったところでございまして。

続きまして、次のページになります。

文化財管理費でございまして。15万3,000円の減となったところでございまして。これも見込

みを立てさせていただいたところでございます。

活性化施設管理費につきましても、同様の見込みという部分で2万2,000円の減です。

美術館管理費につきましても、報酬から役務費までそれぞれ見込みを立てさせていただいたという部分で合わせて465万3,000円の減額というところでございます。

美術館事業費では、合わせて19万1,000円の減額という部分でございます。この中では役務費から次のページの備品購入費までございますが、役務費につきましても、美術品の展示作業料でございますが、日通、今まで頼んでいた部分の郡山の方々が頼めないという部分で少し遠い仙台の方を頼むというふうになったので、展示の作業料の若干の増額が発生するという部分で役務費の増をお願いするものでございます。次のページにいきまして、備品購入費で45万円ほどの増額をお願いしたいという部分でございますが、斎藤清の部分での「風」という版画の部分で1997年作という部分が今市場に出たという部分でそれを買い求めたいという部分で、それ以外もございまして、45万円ほどの増額をお願いしたいという部分でございます。

続きまして、57ページの保健体育費の保健体育総務費でございますが20万7,000円、これにつきましては賃金から備品購入費までのそれぞれ見込みであったり額の確定に伴うものでございます。

学校給食費553万9,000円につきましては、当初予算については初めてという部分がございますので、それぞれ少し不安のないような予算のとり方をさせていただきましたが、今回額の確定、あるいは見込みという部分でそれぞれ合わせまして553万9,000円という形になったところでございます。

次のページの運動公園管理費でございます。175万3,000円の減額となったところでございますが、これにつきましては、共済費から備品購入費まで額の今後の見込みあるいは額の確定に伴いまして減額となったところでございます。

次の59ページになります。

災害復旧費、農林水産施設災害復旧費、公共土木施設災害復旧費につきましては、本年度はございませんでしたので全て減額をするというところでございます。町単独災害復旧費につきましても、先ほど歳入でも申し上げたとおり、分担金の増という部分でございますので財源の組み替えをするものでございます。

次のページになりますが、予備費ということで予備費で673万5,000円を増加をするものでございます。

次のページをお願いいたします。62ページになります。

議案第30号「平成30年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算（第2号）」でございます。

300万1,000円を減額して、総額として326万2,000円とするものでございます。

67ページをお願いします。

歳入でございます。

諸収入につきましては、雑入はございませんでしたので1,000円を減額します。

繰入金でございます。一般会計繰入金300万円の減でございます。これにつきましては、裏の歳出のほうでご説明申し上げます。

歳出でございます。

団地造成費、宅地造成費でございますが、宅地造成費の中で需用費、委託料につきましては額の確定に伴う減額です。委託料につきましては、当初桐ヶ丘の分譲地の測量設計をしようという部分で300万円を見込んでいたわけですが、この300万円について一般会計から繰り入れをして実施をしていきたいという考え方でございましたが、繰入金の減額並びに事業費の減となったところでございます。

予備費について2万2,000円の補正をするものでございます。

次のページをお願いいたします。

議案第31号「平成30年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）」でございます。

既定の事業勘定に対しまして245万円を追加いたしまして、事業勘定総額として5億2,360万6,000円とするものでございます。施設勘定につきましては、760万3,000円を減額して歳入歳出それぞれ8,030万円とするものでございます。

75ページをお願いいたします。

歳入でございます。

国民健康保険税でございます。国民健康保険税につきましては、所得等の額の確定等に伴うものという部分と今後の見込みということとを合わせまして、総額として国保税33万4,000円の増加を見込んだところでございます。

続いて、退職被保険者等国民健康保険税でございますが、これにつきましては、年々この退職被保険者の部分が少なくなっているという部分がございますので、11万6,000円ほど減額を見込んだところでございます。

続きまして、次のページになります。

76ページの県支出金、県補助金でございます。これにつきましては、普通交付税等の額の確定、特別交付税の額の確定等に伴いまして28万7,000円の減額となったところでございます。

続きまして、次のページをお願いいたします。

県支出金でございますが、県支出金につきましてはございませんでしたのでゼロというふうになります。

繰入金でございます。一般会計繰入金につきましては、保険安定基金の繰入金からその他一般会計繰入金まで、それぞれ額の確定、あるいは、5節のその他一般会計繰入金については見込みを立てまして減額となったところでございます。その中で保険税の減税分の繰入金というのは、これは県のほうから一般会計のほうで受けておりますのでそれを歳入という部分で受けてふえたという部分での359万6,000円でございます。

続いて、諸収入の延滞金加算金及び過料でございますが、一般被保険者の延滞金という部分で確定額及び見込みを含みまして25万8,000円を計上させていただきたいというところでございます。

次のページになります。

雑入でございます。被保険者返納金という部分と雑入という部分で35万3,000円の増額並びに雑入では減額となっております。返納金でございますが、これにつきましては、本来では国民健康保険の被保険者の方に当然国保のほうで給付をするわけですが、異動していたときに異動届の処理が遅くなったという部分がございます。その方に対して国保のほうで給付をしていたという部分がございますので、それを返していただいたという部分での返納金でございます。雑入につきましては、見込みで減額となっております。

続きまして、次のページになります。

79ページから歳出となります。

総務費の総務管理費の一般管理費で、それぞれ見込みを立てて8万1,000円の減額となったところではございますが、その中で手数料で2万3,000円の増額をお願いしたいという部分でございますが、これにつきましては、国保の情報集約システムという部分でございます。これが30年度から運用を開始したということがございましたので、少し数字等がつかめなかったということがございましたので、今回2万3,000円ほど増額をお願いするものでございます。

総務費の徴税费でございます。賦課徴収費で8万8,000円の減額、見込みでございます。納税奨励金でございますが、これも見込みという部分で39万7,000円、滞納処分費で5,000円の減額、これについてはないという部分でゼロという形になります。

次のページになります。

運営協議会費でございます。運営協議会費につきましては、見込み等で7万8,000円の減額給付費になります。一般被保険者の療養諸費でございます。一般被保険者の療養給付費につきましては、290万6,000円の増加を見込んでございます。これにつきましては、見込みの増という部分となります。今までの実績並びに今後の見込みを立てさせていただいたところ、給付見込みを増額とさせていただいたところでございます。一般被保険者療養費につきましては、6万3,000円の減額となります。

続きまして、退職被保険者等の療養諸費につきましては、先ほど歳入のほうでも申し上げましたが、対象者の人数が減ってきているという部分がございますので、当然給付費も減るといふようになりますので、445万2,000円の減額を見込ませていただきました。

次のページになりますが、一般被保険者につきましてはの高額療養費につきましても、9万7,000円ほど増額をお願いを見込みたい。退職被保険者につきましてはの高額につきましても、113万6,000円ほどの減額を見込むと。

出産育児諸費につきましては、当該年度の出産、国保会計で給付をするという部分では、1件分のみを残して減額をしたいというところがございます。支払手数料としては、1,000円の減を見込んだところがございます。

次のページへいきます。

葬祭諸費でございますが、葬祭費につきましては見込みという部分で5万円の増額をお願いしたいという部分でございます。国保会計で10件ほど見込んでおりましたが、大体使い切りそうになってきたという部分がございますので、5万円ほど増額をお願いしたいというところがございます。

その次の医療給付費等につきましては財源の補正、後期高齢者等の支援金等につきましても財源補正、次の83ページ、介護納付金につきましても財源補正でございます。

続きまして、特定健康診査等の事業費でございますが40万3,000円の減額、これにつきましては、見込みを立てさせていただきましての減でございます。

次の84ページになりますが、保健事業費として疾病予防費で見込みという部分で2万2,000円の減、償還金利子及び還付加算金という部分で、これにつきましては見込みで10万

円の減、諸支出金で繰入金という部分でございますが、国保の施設勘定に対しての繰り出しという部分で、先ほど歳入のほうでもあったんですが、その施設勘定に繰り出す額が確定したという部分で減額するものでございます。

次のページになります。

85ページ、予備費で1,110万2,000円の増額をお願いするものでございます。

91ページをお願いいたします。

91ページからは国民健康保険の施設勘定についてでございます。

歳入でございます。

診療収入、外来収入でございますが、内科国民健康保険診療報酬からその他の診療報酬までそれぞれ今後の見込みを立てさせていただきまして、歳入を増あるいは減というふうになりましたが、これにつきましては、平成30年当初予算につきましては医師等がまだ確定していなかったという部分がございますので、診療報酬につきましても少し抑え目でとらせていただいたということもございましたので、今3月になるという部分がございますので、今回の見込みという部分でそれぞれに見込ませていただいた結果となったところでございます。

その他の収入という部分でその他の収入につきましては、25万3,000円ほどの減額をお願いするものでございます。

繰入金につきましては、964万5,000円の減額という部分でございます。一般会計の繰入金の減額、続きまして、次のページになりますが、特別会計の減額。これにつきましては、当初で医療機器等を見込んでいたという部分があってその減額が大きな理由となります。

次のページをお願いします。歳出となります。

総務費の施設管理費の一般管理費で10万6,000円の減額というところでございます。これにつきましては、今後の見込み等を立てさせていただきまして、共済費並びに賃金でございますが、これにつきましては今現在、1名の職員は産休等に入っております。どうしても1名は減の状態となっておりますので、臨時職員という部分で対応しておりますので、その方の共済費並びに賃金の増加をお願いしたいという部分でございます。それ以外につきましては、見込みを立てさせていただきまして減額とさせていただきました。

内科研究費につきましては、見込みという部分で12万4,000円の減となります。

次のページをお願いいたします。

医薬費の内科医薬費でございます。

医薬用機械器具費で597万1,000円、これにつきましては、当初で1,500万円ほど見込んで

おりましたが、その中でも本当に現に必要なものだけの購入という部分でお願いをしたいというところで約600万円ほどの減額となったところでございます。

医薬用消耗器材費の4万9,000円の増、並びに医薬用衛生材料費の減額で149万9,000円となっておりますが、その中での委託料の16万8,000円の増につきましては、それぞれ臨床検査の委託料の部分とその臨床検査に使う検査用品の消耗品類の増という部分で増加をお願いしたいというところでございます。それ以外についての需用費については、見込みを立てさせていただきまして減額をさせていただきました。

予備費については、4万8,000円の増加となったところでございます。

次のページになります。

○議長

総務課長、疲れたのでは。大丈夫ですか。

○総務課長

大丈夫です。

○議長

では、続けます。

○総務課長

続けます。

議案第32号「平成30年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）」でござ

います。
総額といたしまして36万3,000円を追加いたしまして、5,114万4,000円とするものでござ

います。
100ページをお願いいたします。

歳入でござい

ます。
後期高齢者の保険料でござい

ます。これにつきましても、今後の見込みを立てさせていただきまして、特徴、普徴それぞれで見込ませていただいた結果、総額といたしまして34万9,000円の増加を見込ませてもらうものでござい

ます。
諸収入につきまして、延滞金という部分で2,000円の増、償還金及び還付加算金で1万2,000円、これにつきましても、還付金として平成29年度分の還付金という部分で返ってまいりますので、それを受けるという部分でござい

歳出となります。

広域連合納付金でございます。先ほど保険料の部分で現年度分での特別徴収、普通徴収での増減がございました。それに対する部分での増分37万2,000円を広域連合のほうに納付していくという形で37万2,000円をとらせていただきました。

予備費で9,000円の減とさせていただきます。

次のページをお願いします。

議案第33号「平成30年度柳津町介護保険特別会計補正予算（第5号）」でございます。

歳入歳出それぞれ976万5,000円を減額し、総額として5億4,924万7,000円とするものでございます。

107ページをお願いいたします。

歳入でございます。

保険料でございます。これにつきましても、今後の見込みという部分で特別徴収、普通徴収という部分でそれぞれ見込みを立てさせていただきますして64万2,000円の減となったところでございます。

国庫負担金等につきまして、ずっとここから出てまいります。これにつきましては、それぞれ歳出のほうで給付見込みを立てております。それに伴いますルール分での増、あるいは減という部分で歳入をとらせていただいております。

なお、次の108ページの国庫補助金の中で、保険者機能強化推進交付金というものを新たに今回歳入として見込ませていただきました。これにつきましては、今後の給付見込みという部分のために積み立てをなささいという部分で来た交付金でございますので、歳出のほうで基金のほうで積み立てをしていきたいという部分でございます。

それ以下の支援交付金、県支出金等につきましては、全て歳出の給付費に関するものでございます。

次の109ページの繰入金についても同様で、一般会計からのそれぞれの給付費に対する繰入金でございます。

基金繰入金でございます。109ページの一番下になりますが、これにつきましては、当初で1,000万円の基金繰入金を見込んでおりましたが、給付費等を精査したところ、基金の取り崩しをしなくても対応できるというふうになりましたので、取り崩しをやめたいという部分で減額するものでございます。

続きまして、110ページをお願いします。

歳出となります。

総務費の総務管理費、一般管理費でございます。それぞれ報酬から役務費で見込みということで4万円を減額させていただきました。

介護認定審査会費でございます。これにつきましても、委託料、役務費等で見込みで105万3,000円の減額でございます。

保険給付費の介護サービス等諸費、施設介護サービス給付費でございますが、これにつきましては、施設介護サービス等の見込みという部分で165万9,000円ほど増額をお願いしたいという部分でございます。これにつきましては、おわかりのとおり、福柳苑が本年度から30床増床した分について全て満床となったという部分がございますので、そういうものに対する給付費という部分で増額となったという部分でございます。

続きまして、居宅介護福祉用具につきましては、見込みを立てさせていただいたところ、今ほとんどございませませんが、今後のことを考えますと1万2,000円ほど増加をお願いしたいという部分でございます。

次のページになりますが、介護サービス等諸費の居宅介護住宅改修費、居宅介護サービス計画費、地域密着型介護サービス費につきましては、それぞれ見込みの中で計画を立てさせていただきましたが、地域密着型介護サービス給付費につきましては、負担金補助及び交付金の中で、施設のほうでの利用者が多くなったという部分がございますので、それについての増加という部分でございます。

続いて、高額介護サービス等費でございます。これにつきましてはと高額医療費の介護サービスにつきましては、それぞれ見込みを立てさせていただきまして減額となったところがございます。

次のページをお願いいたします。

特定入所者介護サービス等費でございます。特定入所者介護サービス費でございますが、これにつきましては、63万円ほど増額をお願いしたいというところでございますが、これは低所得者に対します入所者に対する支援、負担金の補助という部分でございますので、低所得者がいらっしゃるといふか、階層が低い方が入所されている方が多くなりますと、この分についての負担金、補助金がふえてくるというような部分になります。特定入所者介護サービスについては見込みという部分でございますが、これも同じように低所得者分でございます。

続きまして、介護サービス等諸費の部分でございます。介護予防サービスから7目の介護

予防サービス計画費までそれぞれ減額、増額等見させていただきましたが、増額をさせていただいたのは介護予防住宅の改修費でございます。住宅改修の予防費についての4万2,000円だけ増額、今後の見込みで立てさせていただいたというところでございます。

次のページになります。

地域支援事業費、包括的支援事業・任意事業費でございます。

介護予防ケアマネジメント事業につきましては、包括支援センターの業務委託料につきまして82万1,000円の増加をお願いしたい。ケアマネジメントの計画をつくる人の人数の増、あるいは、そこに来た職員が4月で人事異動となっていたんですが、その人事異動に伴います給料等が当然変わってまいりますので、それに伴います委託料という部分が出てまいりますので、合わせまして今回3月に委託料精算という形になりますので82万1,000円ほど増額をお願いしたいというところでございます。

任意事業でございますが、報償費から負担金までそれぞれ見込みを立てさせていただきまして50万6,000円の減でございます。認知症総合支援事業につきましても、見込みで13万6,000円の減でございます。生活支援体制整備事業でございますが、財源補正となります。

次のページをお願いいたします。

介護予防・生活支援サービス事業費でございます。これにつきましては、46万6,000円ほどの増額をお願いするものでございます。自宅で介護を受けている方等に対する部分がやはりどうしてもふえているという部分で、1号訪問事業あるいは1号通所事業というものの見込みが増額されるという形になります。

続きまして、一般介護予防事業費でございますが、見込みの中で9万6,000円の減となります。

基金積立金、これは歳入で先ほど申し上げました交付金を全て基金で積み立てをするという部分になります。

次のページになります。

予備費で1,183万2,000円を減額するというところでございます。

117ページをお願いします。

議案第34号「平成30年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）」でございます。

歳入歳出それぞれ4,565万9,000円を減額して、総額として2億6,569万円とするものでございます。

地方債補正を2条で願います。

120ページを願います。

第2表として地方債補正で願います。簡易水道の統合整備事業という部分で、本年度最終年度という部分で願います。額の確定に伴いまして簡水債の借入額も変動いたしましたので、それに伴いまして1,460万円ほど地方債を減額するもので願います。

123ページを願います。

歳入で願います。

分担金及び負担金で願います。加入負担金につきましては、今後の見込み等を勘案いたしまして25万9,000円分の減額を願います。

使用料及び手数料で願います。使用料につきましては、現年度分の中で今後の見込みを立てさせていただきまして210万9,000円というところで願いますが、前年度滞納繰越分につきましては、今の状況を勘案いたしましてそれぞれに減額を願いたいというところで願います。

手数料で願いますが、検査手数料につきまして本年度7,000円、額の確定という部分で落とさせていただきたいという部分で願います。

次のページになります。

国庫補助金で願います。これにつきましては、簡易水道等施設整備費補助金で願います。歳出の額の確定に伴います歳入の減、1,314万円です。

繰入金につきましても、同様に歳出の事業費の減に伴います一般会計繰入金の減で願います。

諸収入の雑入で願います。雑入といたしまして219万8,000円の減となっておりますが、この大きな理由といたしましては、雑入の中で水道管移設補償費という部分で願いますが、県の工事で麻生地区の部分の水道管の移設を当初予定しておりましたが、それが見込めないという部分なのでこれを全額減額するというのが一番大きな理由となります。

次のページになります。

125ページで、延滞金で願いますが、1万円の減を願います。

町債につきましては、先ほどご説明したとおり1,450万円の減です。

次のページ、歳出となります。

簡易水道事業費で願います。502万1,000円の減となります。大きな理由といたしましては、委託料等での333万4,000円の減の部分が一番大きな理由となります。あとは事務補助賃

金、当初1名が年度途中で退職したということがございましたので、臨時職員をとらせていただいたところではございましたが、募集しましたが見つからなかったという部分がございますので、それを落とさせていただくという部分でございます。

簡易水道統合整備事業でございます。4,063万8,000円、それぞれ額の確定に伴いまして委託料並びに工事請負費で減額をしたところでございます。

次の127ページになります。

議案第35号「平成30年度柳津町町営スキー場特別会計補正予算（第2号）」でございます。

歳入歳出それぞれ620万7,000円を減額して、総額として321万円とするものでございます。

132ページをお開きください。

歳入でございます。

歳入につきましては、全て一般会計繰入金です。歳出のほうでご説明を申し上げます。

次のページをお願いいたします。

歳出、スキー場事業費の中で需用費、役務費につきましては見込み、確定に伴いまして減額でございます。大きな理由といたしましては、委託料という部分で、当初予算で測量設計委託料という部分で611万3,000円をとらせていただきましたが、内容的にはスキー場施設の解体の実施設計をしたいという部分で当初予算でとらせていただきました。しかし、本年度そこに至らなかったという部分がございますので、全額減額をするという部分でございますので、それに伴います一般会計の繰入金という部分がございますので、それで減額をされているというところでございます。

続きまして、次のページになります。

議案第36号「平成30年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算（第5号）」でございます。

歳入歳出それぞれ22万円を減額して、歳入歳出それぞれ9,143万円とするものでございます。

139ページをお願いいたします。

歳入でございます。

分担金及び負担金の負担金でございます。加入負担金につきましては、今後を見込みまして1件分の減額をお願いしたいという部分でございます。使用料につきましても、見込みを立てさせていただきまして3万5,000円の減額、手数料につきましても今年度登録申請はな

かったという部分で1万円の減、延滞金加算金及び過料についてもないという部分で1,000円の減、次のページにいきまして、雑入についても何もないという部分で減額となります。

続いて141ページ、歳出となります。

総務費の総務管理費の施設管理費でございます。総額といたしまして、20万4,000円の減額となったところでございます。これにつきましては、それぞれ歳出を見込んでおります。ただし、需用費の中の光熱水費で6万円ほどの増額をお願いをしたいという部分でございます。農業施設集落のそれぞれの施設の電気料等を今までのトータルを積み上げてまいりますと6万円ほど不足が発生する見込みであるという部分なので、補正をお願いしたいというところでございます。

続きまして、次のページになります。

142ページ、予備費でございますが、予備費で1万6,000円の減となったところでございます。

次のページです。

議案第37号「平成30年度柳津町下水道事業特別会計補正予算（第5号）」でございます。

歳入歳出それぞれ44万2,000円を減額して、総額として6,626万2,000円とするところでございます。

148ページをお願いいたします。

歳入でございます。

分担金及び負担金ということで、今後の見込みを立てさせていただきまして51万9,000円の減額をお願いしたいという部分でございます。使用料手数料の部分で使用料でございますが、公共下水道の使用料という部分で80万円ほどの増額を見込みたい。手数料でございますが、工事申請手数料の中で実績としてございますので、1万1,000円の増額をお願いしたい。繰入金につきましては一般会計の繰入金で72万7,000円の減額、次のページにいきまして、諸収入につきまして延滞金についてはないという部分で減額、雑入につきましては、下水道公社の助成金の額の確定に伴います6,000円の減でございます。

次のページ、歳出となります。

総務費、総務管理費の施設管理費44万2,000円の減となっております。これにつきましては、需用費から公課費までという部分でそれぞれ見込みを立てさせていただいております。その中で需用費につきましては、修繕費という部分で農業集落排水のホールポンプ等の修繕

という部分でお願いをしたいという部分で24万円の部分でございます。

議案第38号「平成30年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算（第2号）」でございます。

歳入歳出それぞれ48万1,000円を減額して、総額として207万4,000円とするものでございます。

156ページをお願いいたします。

簡易排水事業の歳入でございます。

使用料及び手数料という部分で、今後の見込みを立てさせていただきまして総額で1万1,000円の減額をお願いするものでございます。繰入金につきましても、歳出の関係での一般会計の減という部分で46万8,000円です。延滞金につきましては、なしという部分で1,000円の減、次のページになりますが、雑入1,000円を見込んでおりましたが、何もないという部分で1,000円の減です。

歳出となりますが、施設管理費として総額で48万1,000円の減となったところでございます。これにつきましては、需用費から委託料までそれぞれ全て減額となっております。

次に、最後の補正予算となります。

議案第39号「平成30年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）」でございます。

歳入歳出それぞれ20万1,000円を減額して、総額として707万3,000円とするものでございます。

164ページをお願いいたします。

歳入でございます。

分担金及び負担金でございます。負担金でございますが、林業集落排水の加入者を1件当初で見込んでおりましたが、見込めないという部分で減額をお願いするものでございます。使用料及び手数料でございますが、これにつきましては、今後の見込みという部分で使用料、前年度滞納繰越についてはありませんので1,000円については減額となります。合わせて2万7,000円の減額をお願いするものでございます。諸収入でございますが、延滞金についてはありませんという部分で減額です。次のページになりますが、雑入もありませんという部分で減額となります。

次のページが歳出、166ページになります。

総務費、総務管理費の施設管理費で3万8,000円の減額という部分でございます。それぞ

れ需用費から委託料まで見込みで減額となります。公債費につきましては、一般会計への繰入金の絡みで財源の補正となったところがございます。予備費について16万3,000円を減額するというところがございます。

以上で補足しての補正予算の説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長

これより質疑を許します。

6番、小林 功君。

○6番

何点かお伺いします。

まず、36ページですが、衛生費の中の委託料、予防接種委託料が300万円減額になっているんですが、この理由を詳しく教えていただきたいということ。

そして、39ページになりますが、農産物6次化推進事業補助金、10万円を削っています。もともと当初予算の段階でもそんなに多い金額ではなかったと記憶していますが、ただ、農産物の6次化って非常に大事なところで、力を入れていかなければいけないという部分だと思うんですが、事業としてどうなのか、少し考えなければいけない部分があるのではないかとこのように思うんですが、担当課としてどのように捉えているのかお伺いします。

54ページの教育費の賃金のところで特別支援教育支援員の賃金が130万円削られています。これは人員を減らしたのか、どういう理由でこれだけの金額がカットされたのかということをお伺いします。

最後に、スキー場会計です。スキー場の事業費の、133ページになりますが、ここで解体の実施設計分を削っております。来年度の当初予算を見ればある程度はわかるんでしょうけれども、どういう方向で進んでいるのか、進めるつもりでいるのか、これを削ってですね。現状と進捗状況を教えていただきたいと。

以上です。

○議長

それでは、まず36ページ、予防接種について。

町民課長、答弁を求めます。

○町民課長

それでは、お答えいたします。

予防接種につきましては、定期予防接種と任意の予防接種がございます。それにつきまし

て、昨年度も実績を見たわけですが、それよりもやはり、該当する方についてはある程度の予算をとって、昨年度よりは7割から8割程度の予算をとったわけですが。それでも中にはやはり予防接種につきましては受けない方が多かったということで、予算はある程度見込みながら、予防接種の委託料につきましては、受ける方が少なかったということで、保健師並びにうちのほうからも受けるような形で接種の要請はしてはいるんですが、やはり種目によってはなかなか受けないという注射もございますので、予算的にはこういう形で大幅に少なくなったところでございます。

○議長

次に39ページ、6次化、10万円分の減額と事業について。

地域振興課長。

○地域振興課長

まず、39ページの6次化推進事業補助金でございますが、当初では20万円とっております。これにつきましては、上限がありまして10万円の2件ということでございます。今年度1件の見込みでありますので10万円を落とさせていただくものでございますが、これにつきましては、新たな商品開発に伴います、例えばラベルの作成とか、消耗品ですと瓶を使うとか、そういったものに対する補助金でありますけれども、なかなか利用する方が少ないという状況でありますので、もう少し内容について見直しをする必要があるのかというふうには考えております。あとは、もう少しPRのほうをしていきたいというふうには考えております。

次に、133ページのスキー場の設計委託料の減ということでありますけれども、こちらのほうにつきましては、小巻共有管理会のほうとの話し合いをしております、なかなか30年度につきましては理解が、協議の結果、理解が得られないということで、今年度については見合わせをさせていただいているところでございます。

現在の状況でございますけれども、2月20日に小巻共有管理会の臨時総会がありまして、その中でまた来年度実施設計をしていきますというようなことで話はしている状況ではございます。

以上であります。

○議長

では、次に54ページ、教育費。

教育課長。

○教育課長

お答えいたします。

54ページは、会津柳津学園中学校教育振興費、その中の賃金の説明では特別支援教育支援員賃金、減額135万6,000円です。この内容につきましては、当初1年間を通じて必要な日程ということで考慮していたんですけれども、中学3年生の中に、普通教室ではございますが、特別な支援を必要とする子がおりました。この子に対してのものだったんですけれども、1日ではなくて必要な時間ということで出勤をいただいております。手の届くところの時間ということで実質はしてきたんですけれども、その中で1日は必要なくて必要な時間単位で勤務いただいたものですから、必要外の時間の部分については出勤を要請せず、こういった減額という形になりました。

以上です。

○議長

6番、小林 功君。

○6番

まず予防接種についてですが、当初の見込みよりかなり少ない人しか接種を受けなかったということですが、当初の見込み人員、人数、そして実際に接種を受けた人の数、そして、それは受けなくても大丈夫な予防接種なのかどうか。予防接種の種類を教えてくださいと思います。

それと、スキー場については、さらに来年度解体、解体の実施設計を約束してきたということによろしいですか。ということと、解体実施設計に当たって、その前に道路の整備をやるというような話があったんですが、それとの兼ね合いをお伺いしたいと思います。

○議長

まず、町民課長。

○町民課長

予防接種につきましては、予防接種法に基づきまして感染拡大を予防するという形で予防接種を行っております。定期の予防接種につきましては、乳幼児、個別接種でございますが、それにつきましては定期的にやっているところでございますので、このほうにつきましてはある程度漏れがなく実施されているところでございます。また、高齢者のインフルエンザ、昨年度につきましては、一昨年はインフルエンザ予防接種の注射のワクチンが少なくなると。失敗したのだという形で、一昨年につきましては町外からもワクチン接種を柳津町診療所で受けるところもございました。任意接種といたしましてインフルエンザ、高校生以下の子供、

老人につきましても、やはりことしはどうしてもインフルエンザがはやっていなかったせいか、それで数百人やはり注射、昨年と比べますとやはり少なくなっているということもございます。今はやっているのが、ワクチンがないということで男性の方が風疹なり麻疹なりという形でそういう病気についても今ふえているという形でございます、それにつきましても、国のほうで抗体のない方に対しての検査とかそういう形でやっていくような形でございます。町のほうとしても、ある程度予算を確保しながら予算が足りなくならないように、皆さんに受けてもらえるような形の勧奨推進はしてまいりますので、今回につきましては、こういう形で予防接種のものが予算はとってあったんですけども、若干少なかったためにこれだけ残ってしまったということでございます。

よろしく申し上げます。

○議長

続いて、地域振興課長。

スキー場と道路。

○地域振興課長

まず、スキー場の解体の実施設計ということですが、2月20日に小巻共有管理会との話し合いの中で今後のスケジュールということで聞かれましたので、31年度に実施設計、その後、1年ないし2年にわたりまして解体をしていきたいということで話をしてきておりますので、文書でもって小巻共有管理会のほうにこれから文書で出す予定でございます。

道路につきましては、建設課長のほうからお願いしたいと。

○議長

では、続いて建設課長。

○建設課長

道路関係につきましては、30年度の予算で概略設計、全体的に見ないと排水の関係、どこに抜くのか、前後の取りつけの関係で概略設計等して計上させていただきましたけれども、その利用目的がはっきりしないということで、どのような車両を上げるのか、そういうことを検討しないと道路の幅員とかそういうのも決定できなかったもので、今回は見合わせていただいたところです。

今年度予算において、地区のほうで急カーブあるいは縦断勾配がきつい箇所について3カ所ほどありますが、その部分の測量設計を計上させていただいたところでありまして、

以上です。

○議長

続いて、町民課長から補足説明があります。

町民課長。

○町民課長

今、手元に資料がございませんので、人数については後ほど報告させていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長

6番、小林 功君。

○6番

終わります。

○議長

ほかにございませんか。

5番、田崎信二君。

○5番

私のほうからは、33ページ、障害者福祉費の中で介護給付費があるんですが、減額の数字が大きい割には説明をまだ受けていないということで、具体的な説明をお願いしたい、この減額に対して。

あと、40ページ、農業振興費の中で園芸作物・花き産地向上支援事業補助金なり、中心経営体の補助金があるわけなんですけど、昨日の一般質問でも同僚議員のほうから農業振興に当たっての質問をされて要望なり出ていたわけですが、やはり今後農業振興に当たってようやく後継者的存在がふえてきている中で、どうにかこの町で補助制度を確立しているわけですが、やはりこういう減額になるというのは、やはり対象要件がちょっとかけ離れているというか、クリアできない部分があるのではないかということでございますので、その辺について今後見直すことがあるのか、ないのか。その辺についてお聞かせ願いたいと思います。

○議長

それでは、障害者関係、減額の説明ということで、先ほど漏れていましたので再度説明、補足を願います。

町民課長。

○町民課長

33ページの扶助費の中の減額890万円の中身でございます。柳津町につきましては、自立支援医療費という形で施設がかかっている分の介護分……、600万円ですか。介護給付費の600万円でございますが、昨年と同じような形で想定したところでございますが、介護給付を受ける方が少なかったという形で相対的に金額が落ちているところでございます。

含めて、訓練等の給付費と重度障害者支援事業補助、計画相談支援給付費でございますが、やはりケースワーカーがその家に行ってどういう症状でどういう介護が必要だという形で計画したりマネジメントする件数でございますが、それにつきましてなかなか件数的には伸びていなかったために減額という形になったところでございます。

なおかつ、医療関係も施設のほうとかでなく、やはり今、在宅介護のほうに力を入れている関係で、介護給付費につきましても、高額にならなくてその分減額になったという形でございます。

以上です。

○議長

続いて、40ページ、地域振興課長。

○地域振興課長

40ページの園芸作物・花き産地力向上支援事業補助金でございますが、72万円の減額というところでございます。これにつきまして、昨日の一般質問でも申し上げましたが、補助の内容につきましては、種苗、肥料代については2分の1、ハウスについても農協さんの補助金と合わせまして2分の1の補助、機械につきましては2割の補助ということでございます。これにつきましてある程度当初要望をとっておりますので、当初はそういったことで予算をとっておりますが、個人の方のどうしてもできないという方もいますので今回減額になっているわけなんですけれども、見直しはどうかということでありまして、これは昨年29年度からの事業でありますので、今後の状況を見ながら見直しを含めていきたいと思っております。

以上であります。

○議長

5番、田崎信二君。

○5番

まず、介護給付費の理由等についてはわかったんですが、実際、昨年度と同じような想定で組んだということですが、人数的なやつというのも把握されていると思いますので、これ

まで人数何名ぐらいというのはちょっとあれですが、これはあしたから始まる委員会等で具体的に詳しく説明願いたいと思います。

40ページについては、肥料、それから施設化ということで補助を組んでいるんだということですが、今現在、県議会のほうでもう施設化に対しての補助事業ということで議論されて通ったと思うんですが、これに合わせまして町のほうも上乘せというか、そういうことによって今後施設の振興をお願いしたいということで考えてございますので、その辺について町長からお聞かせ願いたいと思います。

○議長

では、町長。

○町長

お答えをしたいと思います。

昨年の耕作関係で、温度が高かったということでかなりロスが出たということで、普及所と農協と話をして、課長も交えながら、指導を徹底していくということで、31年からは普及所、農協、それらについても経営指導をしていくという形になりました。そういったものもありますから、これからやはりハウスの問題がかなり高いということで、それらについての助成が今、議員がおっしゃったように、県の方向性と合わせながら町でもそれに上乘せていきながら、経営の体系の新規就農の皆さんのやりやすい、そういう条件をつくっていくと。こういったことはしていく必要があると、そのように思っていますので、今回それを見込んでいない予算計上してありますので、今後の対策はその後にもかさ上げをしていきたい、そのように思っていますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議長

5番、田崎信二君。

○5番

以上です。

○議長

ほかにございませんか。

2番、磯目泰彦君。

○2番

私からは1点だけなんですけど、36ページの13番、やはり委託料なんですけど、その中で歯科健診ということで委託料が13万1,000円減額になっているようなんですけど、平成29年は24万

5,000円という予算で、平成30年は当初予算なんですけど16万8,000円という予算になっているかと思うんですが、ここからのマイナスということですか。減額ということで捉えていいんでしょうか。

○議長

答弁を求めます。

町民課長。

36ページ、歯科健診委託料。

○町民課長

歯科健診委託料につきましては、先生を含めてなんですけど、合同で歯科健診については年間決まっていたところがあるんですけど、そこの中でまとめてやったというところもございまして、歯科健診につきましては、合同で集まった関係で先生のほうの委託料が少なくなったということでございます。

済みません。勘違いしました。歯科健診につきましては、きのう質問あったような40歳、50歳、60歳の方の年に合わせての歯科健診でございますが、該当する方が10名だったと。うち、受けた方が1名、2名だったものですから、その分で減ったところでございます。

済みません。よろしく申し上げます。

13万1,000円だけ、それで精査した結果、減額させていただいたということでございます。

○議長

2番、磯目泰彦君。

○2番

ということは、40・50・60の町で健診している分だけという捉え方でいいんですかね。学校の分とかは入ってます、入ってない（「ないです」の声あり）入ってないのね。はい、わかりました。

16万円から13万円の減なので、ほぼほぼ3万円くらいしか残らないような金額になってしまったので、歯科健診のほう実施されていなかったのかなと考えていたんですが、学校のほうが含まれないのであれば了解でございます。

○議長

ほかに。

3番、伊藤 純君。

○3番

3点ほどお願いします。

28ページ、備品購入費の庁用備品購入費、先ほど1・2階のシュレッダーと総務課長にお聞きしました。99万3,000円。これは何台入れたのでしょうか。教えてください。

そして、43ページ、有害鳥獣捕獲従事者支援事業者補助金29万8,000円減になっていますが、これは内容としては、例えば捕獲頭数が少なかったのか、例えば出勤日数が少なかったのか、人員が少なかったのか、その辺を教えてくださいたいと思います。

3点目ですが、56ページの美術館事業費、著作権使用料が68万5,000円減額になっていますが、これは著作権持っておられる方に減額をしてもらったのか、それとも、物販品の販売が少なかったから著作権使用料が少なくなったのか、内容を教えてくださいたいと思います。

以上、3点。

○議長

では、まず28ページ、シュレッダーについて。

総務課長。

○総務課長

お答えいたします。

シュレッダーにつきましては、1階に1台、2階の総務課のところに1台、合わせて2台分です。

以上でございます。

○議長

続いて、地域振興課長。

鳥獣有害。

○地域振興課長

43ページの有害鳥獣捕獲従事者支援事業者補助金でございますが、この主なものとしましては、新たに免許をとった方が例えば銃とかを買った場合の補助金、そういったものが大きいです。

以上であります。

○議長

続いて、56ページ、美術館、著作権。

教育課長。

○教育課長

お答えをいたします。

こちらは著作権者との話し合いの中もございまして、その著作権料の支払額が減額となったものでございます。

以上です。

○議長

3番、伊藤 純君。

○3番

シュレッダー2台、結構高いと思うんですけども、後で見せてもらえますか。ああ、まだ現品はないのか。これからだもんね。前と同じような形。了解しました。

あと、著作権使用料、これは昨年だけ、おととしも下げてますよね。

○議長

教育課長。

○教育課長

過年も経緯はございます。

以上です。

○議長

3番、伊藤 純君。

○3番

最初、幾らでしたっけ。31年の予算だと392万1,000円とっているんですけども、最初の予算は大体どのぐらいでしたっけ。400何十万でしたよね。（「そうですね」の声あり）

いいや、ごめん、ごめん。著作権の使用料を安くしていただいたということね、年間の使用料を。了解しました。

○議長

ほかにございませんか。

10番、鈴木吉信君。

○10番

32ページの20番、運転免許証自主返納の扶助のもの、これだけの金額なんですけど、大体昨年1年間で柳津町でどれくらいの方がおられたのか、伺いたいと思います。

もう一つは、54ページ、教育費の19番の負担金補助及び交付金、この中の柳津町の海外派遣事業補助金というもの、これだけの額の減があったわけなんですけど、この内容の説明をお

願いたいと思います。

○議長

まず32ページ、自主返納運転免許証、71万5,000円の減についての説明を求めます。

町民課長。

○町民課長

71万5,000円の減でございますが、昨年度運転免許証を自主返納された方は16名おります。その申請されてから1年間という形でございます。ですから、その中で1月現在見たところ、これからの支払いを見込みながら減額になったのは71万5,000円ということでございます。

済みません。32ページに関連しまして、33ページの扶助費でございます。先ほど勘違いして答弁を間違ったので、訂正させていただきます。

これにつきましては、障害者の方が実際、介護保険費等を使っておられた方なんですが、その方がお亡くなりになった絡みで事業費が減ったということございまして、その分につきましては890万円ほどその分にかかわる計画等の支援を含めて減額になったということで、見込みでございますので、それで確定したために減らさせていただくことで訂正させていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長

続いて、54ページ、教育費、海外派遣について。

公民館長。

○公民館長

それでは、海外派遣についてなんですが、当初、前回ハワイのほうに行っておりまして、そのときの旅費のほうを見込んで予算計上しましたけれども、結果的にシンガポールのほうに行くようになりまして、その分一人一人が旅費のほうが減額になったことによる減額です。

○議長

10番、鈴木吉信君。

○10番

公民館長、予算を確保する段階では、まだハワイということであったのでしょうか。それとも、途中に対しての変更、シンガポールに変更になってこのような差額というものが出たということなのでしょうか。

○議長

公民館長。

○公民館長

予算をとるときには、行き先のほうはシンガポールというふうに決まっていたのですが、その時点では旅行会社のほうの金額が幾らになるかというのがつかめておりませんでしたので、詳細が決まってから金額が決定したということでございます。（「わかりました」の声あり）

○議長

ほかにございませんか。

1 番、岩淵清幸君。

○1 番

1 点だけ。

予防接種に関してですが、最近柳津町でもかなりインフルエンザが流行しているということで、中学校が学級閉鎖も 1 クラスあったというふうに伺っていますが、学校でのインフルエンザ等の予防接種の体制あるいはその受診率というか、そういう接種率についてどのようなものだったのかお伺いします。

○議長

では、町民課長と教育課長に回答させます。

まず、町民課長。

○町民課長

インフルエンザにつきましては、任意の予防接種ということで、1 月いっぱいまでということと期間を決めて接種については依頼しているところでございます。

なお、人数については、今手元に資料がございませんので、後からにさせていただきたいと思えます。

以上です。

○議長

続いて、教育課長。

○教育課長

お答えいたします。

町のお知らせ等で保護者のほうにつきましては、予防接種をすることは承知をしております。学校側といたしましては、その予防接種のほうのあっせんということで行っております。

んし、何人受けたというところまでの把握はしておりませんでした。

以上です。

○議長

1 番、岩淵清幸君。

○1 番

特に受験生である3年生に対しては、やはり注意を促すなり、接種を推奨するなり、何らかのことをしないと、受験時期にインフルエンザにかかってせっかくの実力が発揮できないというようなことになると、非常にその生徒にとってもマイナスなことになると思いますので、今、間に合うわけでありませんが、次年度からの1つの対策として頭に入れておいてほしいと思います。以上、要望だけしておきます。

○議長

ほかに。

(「質疑なし」という声あり)

○議長

これで質疑を終わります。

お諮りいたします。

議案第29号「平成30年度柳津町一般会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第30号「平成30年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第31号「平成30年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第32号「平成30年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第33号「平成30年度柳津町介護保険特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第34号「平成30年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第35号「平成30年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第36号「平成30年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第37号「平成30年度柳津町下水道事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第38号「平成30年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第39号「平成30年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◇

◇

◇

○議長

ここで暫時休議をいたします。

再開を13時といたします。（午後0時05分）

○議長

議事を再開します。（午後1時00分）

◇

◇

◇

○議長

お諮りいたします。

日程第12、議案第40号「平成31年度柳津町一般会計予算」

日程第13、議案第41号「平成31年度柳津町土地取得事業特別会計予算」

日程第14、議案第42号「平成31年度柳津町国民健康保険特別会計予算」

日程第15、議案第43号「平成31年度柳津町後期高齢者医療特別会計予算」

日程第16、議案第44号「平成31年度柳津町介護保険特別会計予算」

日程第17、議案第45号「平成31年度柳津町簡易水道事業特別会計予算」

日程第18、議案第46号「平成31年度柳津町町営スキー場事業特別会計予算」

日程第19、議案第47号「平成31年度柳津町農業集落排水事業特別会計予算」

日程第20、議案第48号「平成31年度柳津町下水道事業特別会計予算」

日程第21、議案第49号「平成31年度柳津町簡易排水事業特別会計予算」

日程第22、議案第50号「平成31年度柳津町林業集落排水事業特別会計予算」

については、いずれも関連がありますので、一括上程し、議題といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、議案第40号、議案第41号、議案第42号、議案第43号、議案第44号、議案第45号、議案第46号、議案第47号、議案第48号、議案第49号、議案第50号は、一括上程し、議題といたします。

提案者に提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（登壇）

議案第40号「平成31年度柳津町一般会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の一般会計予算を歳入歳出それぞれ45億6,000万円とするものであります。

次に、議案第41号「平成31年度柳津町土地取得事業特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の土地取得事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ3万3,000円とするものであります。

次に、議案第42号「平成31年度柳津町国民健康保険特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の国民健康保険特別会計予算を事業勘定で歳入歳出それぞれ4億9,600万円とするものであり、施設勘定につきましては、歳入歳出それぞれ8,350万円とするものであります。

次に、議案第43号「平成31年度柳津町後期高齢者医療特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の後期高齢者医療特別会計予算を歳入歳出それぞれ5,080万円とするものであります。

次に、議案第44号「平成31年度柳津町介護保険特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の介護保険特別会計予算を歳入歳出それぞれ5億4,400万円とするものであります。

次に、議案第45号「平成31年度柳津町簡易水道事業特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の簡易水道事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ1億5,840万円とするものであります。

次に、議案第46号「平成31年度柳津町町営スキー場事業特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の町営スキー場事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ963万円とするものであります。

次に、議案第47号「平成31年度柳津町農業集落排水事業特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の農業集落排水事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ9,560万円とするものであります。

次に、議案第48号「平成31年度柳津町下水道事業特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の下水道事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ7,200万円とするものであります。

次に、議案第49号「平成31年度柳津町簡易排水事業特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の簡易排水事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ210万円とするものであります。

次に、議案第50号「平成31年度柳津町林業集落排水事業特別会計予算」について、提案理由の説明をいたします。

本案は、平成31年度の林業集落排水事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ280万円とするものであります。

なお、詳細につきましては総務課長より説明をさせますので、よろしくご審議お願いをいたします。

○議長

補足説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（登壇）

それでは、平成31年度の当初予算につきまして補足してご説明を申し上げます。

当初予算の総額につきましては、一般会計45億6,000万円、特別会計を含みますと60億7,486万3,000円という形になりまして、対前年比3億2,039万3,000円の増となったところがございます。

では、内容のほうに移らせていただきます。

1ページになります。

議案第40号「平成31年度柳津町一般会計予算」。

歳入歳出の総額をそれぞれ45億6,000万円とするものであります。2条として継続費の設定をお願いするものです。3条で債務負担行為をお願いするものでございます。4条で地方債の設定をお願いするものです。5条では一時借入金を9億円という形でお願いをするわけでございます。

8ページをお開きください。

第2表の継続費となります。継続費につきましては、平成31年・平成32年で土木費の住宅費、公営住宅等整備事業といたしまして総額で7億9,860万円という形で、31年度・32年度それぞれ年割額を設定させていただきたいという提案でございます。

続きまして、次の9ページになります。

これにつきましては、毎年債務負担行為をお願いしております柳津町居住用家屋新築及び増改築に係る利子の助成金でございます。見込みといたしまして、32年度から36年度までの金額を43万2,000円と限度額を設定するものでございます。なお、これにつきましても、31年度の実績を見まして3月の補正予算等で債務負担額の変更という形になろうかと思えます。

次のページをお願いいたします。

第4表 地方債でございます。

広域消防負担金事業でございますが、これは緊急防災・減災事業でございます。これにつきましては、小型動力ポンプの水槽車と言われるものを広域消防のほうで整備をいたすという部分でございますので、それに伴います負担金でございます。

消防施設整備事業、これも緊急防災・減災事業でございますが、内容といたしましては、消防用の小型ポンプ、古屋敷・高森地区、防火水槽新設のための設計といたしまして、予定で芋小屋・小ノ川地区、県の総合防災情報ネットワークの機器更新という部分で考えてございます。それと一番大きいのは、デジタル防災行政無線という部分での継続費の2年目となる部分を合わせまして、1億8,890万円をお願いするものでございます。

町道五疊敷大成沢線につきましては、1,350万円。

急傾斜地崩壊対策事業、これは鳥屋地区の県営事業に対する負担金でございます。500万円。

スクールバス整備事業につきましては、高森線の今の町民バス、あるいはスクールバスとしての併用になっておりますので、その買いかえをしたいという部分で今回提案するものでございます。

公共施設再編事業で2億6,940万円。過疎対策事業でございますが、これが旧西山中学校を公共施設の核として整備するための工事費の過疎債という部分でございます。

続きまして、町営住宅整備事業債につきましては、先ほどの継続費に伴うものの年割額の部分でございます。

次のページをお願いいたします。

除雪機械整備事業でございますが、これは除雪機械の購入に伴います8,000万円の起債を考えているところでございます。

消雪設備整備事業債でございますが、これにつきましては、本年度から実施しております上村竜蔵庵線の消雪工事のものでございます。

消防施設整備事業、過疎債でございますが、これは、来年度設置を予定しております石坂分と柳ヶ丘の防火水槽の補助残分の起債という形でございます。

広域消防負担金でございますが、これは広域のほうの消防ポンプ車、救急車、会津美里の消防署の予定地、坂下が終わりましたので、31年度からは会津美里消防署のほうで新築という形で入ってまいります。その地質調査が始まりますのでそれに対する負担金という部分で、合わせて310万円でございます。

柳津小学校施設改修事業、これは体育館の屋根の改修を考えておりまして、2,900万円。

過疎地域自立促進特別事業、これは過疎ソフト分でございます。ソフト事業に充当させるための5,750万円でございます。

臨時財政対策債でございますが、これにつきましては、交付税の減額に伴うものの補填分として交付されるもので7,400万円。

合わせて、10億5,170万円という部分で考えさせていただきました。昨年度と比較いたしますと、2億3,980万円ほどの増となっております。これにつきましては、ことしの大きいので言えば、公共施設の再編と言われる西山中学校の整備と公営住宅の整備という部分で大きいものがございますので、起債のほうもその分増額となったという部分でございます。

15ページをお願いいたします。

歳入となります。

町税、町民税でございます。個人でございますが、対前年比28万5,000円の増となっておりますが、これにつきましては、本年度の実績等を勘案いたしまして28万5,000円の要求となったところでございます。法人につきましては、本年度分の決算等を踏まえまして来年度の予定を立てたところ、対前年比66万8,000円の減額ということで見込ませていただきました。

た。

続きまして、固定資産税でございますが、1,582万円の対前年比の増ということでございますが、これにつきましては、西山の関係の電力関係の奥会津地熱関係、そういうものに伴いましての償却資産の増と、持寄地区の新しく進出いたしましたグローバルピッグファームの部分での減価償却について12月に償却資産の確認をしておりますので、そういうものでふえるだろうという部分で少し増額をさせていただきました。国有資産等の市町村交付金につきましては、今年度の状況を勘案いたしまして40万2,000円を見込ませていただきました。

次のページをお願いいたします。

軽自動車税でございますが、22万1,000円の増となっておりますが、これにつきましては、自動車そのものについては余り変わらないんですが、年数がたつてまいりますと税額が高くなってまいりますので、そういうものを勘案いたしましたところ22万1,000円の増となったところでございます。

町たばこ税につきましては、55万7,000円の増額を見込ませていただきましたが、これは、税法上の改正もいたしましたが、電子たばこ等についてもたばこ税の対象となるというふうになってまいりますので、その分についての若干の伸びを見させていただきました。

続きまして、次の17ページ、入湯税につきましては、毎年少しずつ減少傾向にあるという部分でございますが、来年度について4万8,000円の見込みという形でございます。

続きまして、地方譲与税の地方揮発油譲与税でございますが、本年度の実績見込みを勘案いたしまして30万円の減と見込ませていただきました。

自動車重量譲与税につきましても、当該年度30年度の実績見込みという部分で同額とさせていただきます。

利子割交付金につきましても、30年度実績で約1万6,000円の見込みをさせていただきます。

次のページにまいりまして、配当割交付金でございますが、これにつきましても、30年度の実績を見込ませていただきまして19万5,000円、次の株式等譲渡所得割につきましても同様の考え方、地方消費税交付金につきましては19万9,000円ほど増額をさせていただきましたが、これにつきましては税制改正に伴いますという部分がありますので、少し19万9,000円ほど増額を見込ませていただいたところでございます。

自動車取得税交付金につきましては、本年度の実績等を勘案いたしまして減額という部分でございます。

続きまして、次のページになります。

地方特例交付金でございますが、これにつきましても30年度の実績を勘案いたしまして5万円ほどの増額とさせていただきます。

地方交付税でございますが、地方交付税につきましては、本年度の実績額といたしましては17億6,505万5,000円という形になっておりますが、来年度の出口ベースの部分等いろいろ考慮したところ、安全策という部分もございますが、普通交付税では16億5,000万円、特別交付税で1億円、合わせて17億5,000万円という形で対前年5,000万円減という部分で見込ませていただきました。

交通安全対策特別交付金でございますが、30年の実績を見込ませていただくと同様に2万円の減とさせていただきます。

分担金及び負担金でございますが、災害復旧費分担金といたしまして5万円、農地費の分担金を見させていただきます。その下の農林水産業費分担金でございますが、昨年度は鹿島ため池の分担金がございましたが、それがございませんので皆減となっております。

次のページになります。

負担金でございます。民生費負担金で対前年比で373万8,000円の減額となっておりますが、これにつきましては、柳津保育所につきまして、町の考え方といたしまして国の考え方である3歳以上については10月以降無償化というものがありますので、それに合わせてゼロ歳児から2歳児についても無償にしたいという部分も勘案いたしまして、保育料のほうで対前年比で372万3,000円、323万2,000円という部分で減額となったというのが一番大きな理由でございます。

続きまして、給食費の負担金でございますが、学校給食費運営負担金という部分でございますが、これにつきましては、本年度の実績等を勘案いたしまして三島町からの分担金を算定させていただきます。

使用料及び手数料の使用料でございますが、バス使用料については町民バスの利用料を見込ませていただきまして対前年で2万3,000円という形でとらせていただきました。

続きまして、次のページになります。

民生費負担金につきましては、ほとんど変わりはありません。衛生費については存目という考え方でございます。

土木使用料でございますが、これにつきましては対前年比で90万4,000円の減。これにつきましては、公営住宅の使用料の分での減という部分で見込ませていただいております。

教育使用料でございますが、これにつきましては59万2,000円の減額という部分になりますが、一番多いところでは美術館入館料が対前年比で71万1,000円ほど減額しているというところがございます。

次のページになります。

商工使用料でございますが、これにつきましては、ほとんど対前年と変わっておりません。

手数料でございますが、総務手数料については、現状を勘案いたしましてさほど変わっておりませんが3万2,000円の減となっております。

次の23ページになります。

土木手数料でございますが、これにつきましては9万8,000円の大きな増額となっておりますが、屋外広告物の手数料の申請でございますので、これは2年に一度という部分となっておりますので、本年度につきましては広告の手数料の2年目の更新時期になっていなかったというふうになります。31年が更新の時期となりますので、9万8,000円という部分で大きな金額が伸びたという形になります。

国庫支出金の国庫負担金でございますが、対前年比で237万7,000円の減額という形でございますが、これにつきましては、児童手当等の分についての本年度の実績を見まして来年度の予定を立てたところ、歳入部分での減額という部分が一番多いという部分でございます。児童手当の非被用者分の関係で118万9,000円ほど落ちているという部分でございます。それと、障害分の給付金につきましても当該年度の、先ほど補正でご説明したとおり、減額をされておりますので、そういうものの減額を見込みまして、障害児措置費でも対前年比で88万1,000円ほど減っておりますので、そういうものを合わせましての237万7,000円でございます。

衛生費国庫負担金でございますが、これにつきましては、対前年比6万3,000円の減という部分でございます。

続きまして、次のページになりますが、国庫補助金でございます。

総務費国庫補助金で2億6,519万円という大きな伸びでございます。これにつきましては、総務費の総務管理費の補助金という部分で空き家対策総合支援事業補助金という形で2億8,380万4,000円という部分で上がっておりますが、これが本年度西山地区でやっております補助金といたしましては小さな拠点を中心とした集落圏の形成の推進事業という部分で取り組んでまいりましたが、国等との協議の中で、次年度においてはこれに申し込む自治体が非常に多いという部分で、各市町村に割り当てる金額が減るといった部分が想定されるという部分

がございました。その中で、31年度からはこの空き家対策総合支援事業の中で町も持っている公共施設を空き家として取り扱うことが可能となったという部分でございますので、この補助事業に手を挙げたいという部分で組み替えをしていきたいという考え方でございます。補助率については、45から約2分の1まで。内容によってばらつきがありますが、これにやりますと、今あります西山中学校の体育館の解体も補助対象にできるというような部分になります。今までの小さな拠点ですと、集めた施設のみが解体対象でございましたが、今回のこれをやれば、西山中学校の体育館についても解体が対象となるという部分で有利ではないかという部分で選ばせていただいたというところでございます。これに伴いますものが皆減という形で一番大きな理由でございます。

民生費国庫補助金でございますが、これにつきましては、本年度の実績等を勘案いたしまして50万1,000円の減。

衛生費国庫補助金でございますが、これにつきましては、来年度につきましては多くなっておりますが、これは健康管理システムのマイナンバー制度関係での改修が必要という部分で3分の2の補助事業という部分で入ってまいりますので、それで改修をしていきたいという部分でございます。

続きまして、土木費国庫補助金でございますが、これにつきましては4,430万円ほどの減となっておりますが、これにつきましては、社総金のほうの減額という部分が一番大きくなっております。社会資本整備事業の部分で道路橋梁総務費につきまして、来年度につきましては、本年度の実績を勘案いたしまして当初から補助対象となる金額を想定いたしまして、それで予算を組ませていただいたという部分で減っているというところでございます。それと、本年度は公営住宅のストック総合改修事業という部分で柳ヶ丘2号棟の外壁等の改修をやっております。あれが国庫補助金でもらっておりますので、あれで2,000万円強の減額が発生しておりますので、4,430万円という部分での増が発生しております。

教育費国庫補助金でございますが、これにつきましては1,998万1,000円の減となっておりますが、これにつきましては、本年度当初予算では学校環境関係でのグラウンドの整備をしたいという部分で補助金を見ておりましたが、その分で2,169万円がございましたのでそれが皆減となっております。逆に、スクールバスの購入という部分で452万9,000円、これが皆増となっております。

消防費国庫補助金でございますが、これは消防の防火水槽を設置する場所の部分の部分を勘案いたしまして51万9,000円ほどの増となっております。

続きまして、次の25ページになります。

国庫委託金でございますが、総務費国庫委託金につきましては、ほとんど変わっておりません。7,000円ほどの増となっております。民生費国庫委託金につきましては、1万円程度の減でございます。

県支出金の県負担金につきましては、41万4,000円という部分で、これも先ほど国庫のほうで説明したとおり、障害者や児童手当分の関係する給付見込みの減に伴います歳入の減となったところでございます。

次の26ページになります。

衛生費県負担金の母子保健衛生費でございますが、これにつきましては、対前年比の3万1,000円の減という部分でございます。

土木費負担金でございます。これは、道路橋梁費負担金の部分で消雪の電気料の負担金という部分でいただいておりますので、それが本年の実績を見たところこのぐらい減するという部分で減額をさせていただきました。

県補助金でございます。

総務費県補助金につきましては86万2,000円の増となっておりますが、これは、電源立地地域の対策交付金が対前年比で101万円ほど増加となっておりますので、それが大きな要件となっております。

民生費県補助金でございますが、11万6,000円という形で、対前年比につきましては総合的に勘案したところ、このような数字となったところでございます。

続きまして、次の27ページとなります。

衛生費県補助金でございますが、衛生費県補助金については269万2,000円の増となっておりますが、これの一番大きな理由としましては、産業廃棄物最終処分場の理解促進支援事業補助金という部分で、本年度も年度途中で補正予算を組ませていただきましたが、それを来年度につきましては当初予算から100万円を見込みたいという部分と、風しん対策事業の補助金という部分が本年度よりも167万6,000円ほど増額しているという部分が大きな理由となっております。

農林水産業費県補助金でございますが、2,886万9,000円という部分で減っておりますが、大きな理由といたしましては、本年度は林道改良事業補助金という部分でございましたが、1,050万円ほどのそれでの減額という部分と、来年度につきましては、農業次世代人材投資資金の部分について1人が、人数が減りましたので、その分で300万円ほどの減という部分

が出てまいります。

次のページに移りまして、商工費県補助金でございます。150万8,000円の減となっておりますが、これにつきまして一番大きいものとしたしましては、風評被害対策の支援事業でございますが、これは本年度モニターツアー等やっておりますが、それについて来年度につきましては事業費ベースで減っているという部分で118万1,000円ほど対前年比で落ちていると。あとは、観光費補助金のサポート事業についても、事業費の減に伴う歳入81万7,000円の減が一番大きな理由となっております。

土木費県補助金については、同様です。

教育費県補助金につきましては201万8,000円ほど減額となっておりますが、これにつきましては、本年度は放課後子ども教室という部分で151万4,000円ほどあったんですが、それが皆減、ここからなくなったという部分でございますのでそれが減ったという部分でございます。

続きまして、委託料でございます。

総務費委託料につきましては、596万5,000円という部分の大きな増額となっておりますが、これにつきましては、次のページになりますが、来年度につきましては統計調査費の委託という部分で31年度は農林業センサスを実施する年になりますので、それに伴います歳入で115万円の増、あとは選挙の部分での委託料という部分で参議院選挙と県議会議員があるという部分で1,282万1,000円。本年度も県知事選挙がありましたので、それが800万円ほどいだけという部分で当初予算では見込んでおりましたので、そういうものを合計いたしますと500万円ほどの増額という形になります。

衛生費県委託金といたしましては、本年度の実績等を勘案して2万7,000円の減額。

土木費県委託金につきましても、県道除雪から県の除草作業分まででございますが、見込みまして4万6,000円の減額。

教育費委託金でございますが、186万8,000円の増となっておりますが、先ほどこれにつきましては、教育費の県の補助金のほうで減額となったというお話をいたしましたが、この中で2節で地域学校協働本部事業委託金というのがありますが、これが児童クラブ分についての10分の10の補助事業という部分で受けられるようになりましたのでここで225万6,000円、皆増となります。学校支援事業につきましては、対前年比で38万8,000円ほど減額となっておりますので、合わせて186万8,000円の増となったところでございます。

次のページをお願いいたします。

財産収入、財産運用収入でございますが、財産貸付収入につきまして、減った理由といたしましては、長坂の教員住宅等について今空き室が発生しておりますので、それに伴います歳入の減を見させていただきました。利子及び配当金については、利子の関係の部分の基金の利子を見込ませていただきました。

財産売払収入でございますが、不動産売払収入につきましては、本年度につきましては大成沢ということで当初予算から公有林の伐採という部分での売り払いを見込んでおりましたが、それがございませんので存目をお願いしたい。

債権売払についても存目、1,000円でございます。

物品売払収入でございますが、これにつきましては公用車処分売払、これは除雪車を更新したいという部分でございますので、その売払収入という部分で120万円ほど、物品売払収入というので20万円でございますが、これにつきましても、物品とは書いてございますが、先ほどスクールバス、町民バスですが、それを購入したい、高森線を更新したいという考え方がありましたので、そのバスの売り払い分という部分で20万円を見込ませていただきたい。両方とも車両の部分でございます。物品と書かせていただきましたが、そのような理由でございました。

続きまして、出資金返還金収入でございますが、4,527万8,000円の大きな減額となっておりますが、これにつきましては、30年度についてはあいづふるさと基金の返還金があった部分でございましたので、それがなくなりましたので皆減となっております。

続いて、寄附金でございますが、対前年比40万円の減となっておりますが、本年度につきましては民友旗の受領等がありまして、その中で消防団の団旗、分団旗を新しくしたいという部分で消防団のほうからそれに対する寄附を町のほうにいただくという部分で40万円の寄附金を見込んでおりました。それが減っておりますので、その分の減となっております。

次の31ページになります。

繰入金でございますが、特別会計繰入金でございます。後期高齢者医療特別会計並びに介護保険特別会計につきましては存目となっております。当該年度で270万6,000円入っておりますが、これにつきましては、昨年度は下平の下原の宅地分譲についての売払収入を270万円当初予算で見込んでおりましたので、もう今、売る土地がございませんので見込むことができないという部分で、土地収入については本年度は見込んでいないというところでございます。

繰入金、基金繰入金につきましては、本年度の歳出等を見合いまして財政調整基金の繰り

入力で2億円、公共施設整備基金で1億5,100万円という部分で見込ませていただきました。それについては、対前年比で両方合わせますと1億9,100万円ほど増になっております。それ以外については、雇用対策については緊急雇用対策分でございます。震災復興についても震災復興の事業に充当するものという部分でございます。

次のページにいきまして、地域づくり推進事業、これが広域のふるさと基金が返ってきて基金化しているものについて、町の地域づくりのために交付したいという部分で上限を100万円とセットしておりまして、それを本年度3件見込んでおりますのでその繰り出し分でございます。子ども子育て基金についても、本年度から保育料等の無償化という部分も考えてございますので、400万円ほど基金の繰り入れを当初では考えているという部分でございます。

繰越金については、対前年比、比較はございません。

諸収入については、対前年比で延滞金で1万8,000円の減額を見込ませていただきました。

次のページにいきまして、諸収入の町預金利子でございますが、預金利子を見込ませていただいたところ4,000円の減で、当初予算で1万6,000円で見込ませていただくという部分でございます。

貸付金元利収入でございますが、これにつきましては、信用保証協会の貸付金の元利収入1,000万円、続いて、商工会の元利収入300万9,000円については変わりございません。奨学金資金貸付金については、来年度の償還者の関係の結果10万8,000円、本年度よりも減るとい形になります。

諸収入の雑入でございますが、滞納処分費、弁償金につきましては変わりございません。次のページにいきまして、違約金及び延滞利息についても本年度と同様です。雑入で188万4,000円ほど減額となっておりますが、これの一番大きな理由といたしましては、美術館の印刷物等の販売収入が対前年比で191万5,000円の減額、それとコミュニティの助成事業について340万円、これが100万円の減額という部分にあります。逆にふえた部分については、次のページにいつていただきまして、一番下になりますが、光ケーブルの工事補償金として135万5,000円という部分でございます。これが八坂野地区で県道の歩道を今拡張しておりますので、あれに伴います光ケーブルの移設の補償という部分でございます。火災共済給付金でございますが、これについても同じです。

続きまして、町債となりますが、これにつきましては先ほど地方債のほうで説明を申し上げましたので、省かせていただきたいというふうに思います。

続きまして、歳出に移らせていただきます。

37ページをお開きください。

議会費となります。議会費、対前年比195万4,000円の増となっておりますが、一番大きな理由といたしましては、次のページになりますが、備品購入費という部分でございます。これにつきましては、議会の動画配信システムという部分でこれを更新したいという部分でございます。今、ふれあい館とかで見っていますが、画面を見るときにコマ送りのような状態な形で画面が見えるという状態になっておりますので、それをスムーズに見えるようなシステムに改修したいというような部分と、若干議場内も修正を少ししたいという部分もございません。これが対前年比で171万9,000円の増となったところが大きな理由となっております。

続きまして、次のページになります。

総務費、総務管理費の一般管理費でございます。810万9,000円の減でございますが、これの一番大きな理由といたしましては、職員手当の中で退職分の特別負担金というのが本年度ありましたが、それにつきまして1,022万5,000円ほど減額となっておりますので、それが一番大きな減額の理由でございます。この中でふえた部分といいますと、次の40ページになりますが、旅費の中で赴任旅費というのをとらせていただいております。これは後期広域連合のほうに職員を派遣いたしますので、それに伴う職員の赴任旅費という部分でとらせていただきました。それと、次のページの18節備品購入費でございます。これにつきましては、上の段が庁車購入費でございます。これにつきましては、10人乗りのワゴン車を更新をしたいという部分で475万円をお願いしたいというところでございます。その下の庁車用備品購入費でございますが、これにつきましては、本年結構庁車の事故等が多かったという部分で、庁車にドライブレコーダーを設置していきたいという考え方で117万5,000円をお願いしたいという部分でございます。

続きまして、次のページわたりまして文書広報費になります。文書広報費の中で46万5,000円の増となっておりますが、これにつきましては、需用費の消耗品という部分で34万6,000円をとらせておりますが、これが皆増となったところです。これにつきましては、今、区長文書の中で各行政区で回覧板に挟んで回っていると思いますが、回覧板が大分老朽化してきているという部分でございますので、少し整備をしたいという部分でとらせていただいたというところでございます。それと、負担金補助及び交付金の中で、区長連絡協議会の補助金でございますが、2年に一度1泊2日の研修をするということになっております。来年はその年になりますので、若干区長連絡協議会の補助金が伸びてございます。

財政管理費で5,075万5,000円の減額となっておりますが、これにつきましての大きな減額の理由といたしましては、先ほど歳入のほうでも申し上げましたが、ふるさと基金を町のほうに返還になってそれを積立金の基金に積んだという部分がありましたので、次のページになりますが、基金の25節積立金、ここの部分が大きく減った理由となります。それで、地域づくり推進の基金としてそれを積み立てをしたという部分で4,527万9,000円ほどありました。それと、先ほど土地の売払収入の中で土地会計のほうから売ったものが入ってきてそれを積み立てをするとなりますので、土地開発基金の積立金は当該年度30年度当初で270万6,000円を見込んでいたという部分でございます。これについての皆が減ったという部分と、土地会計へ昨年度の積み立て分としてもらっていた、入っていた部分があったので、その分をここで見込んでいたというのが大きな理由でございます。それで減額となっております。

会計管理費につきましては、来年度から農協さんに指定管理制度が変わりますが、指定管理料の人件費の増という部分もでございますので、見直しをしたいという部分で37万5,000円という部分でございますが、指定管理料のほうで38万4,000円の増を見込んだところでございます。

財産管理費でございますが、48万6,000円の減となったところでございますが、今年度の実績等を勘案いたしまして修繕費で修繕見込みが今のところはないという部分でございますので、その辺で35万円ほど本年より減っております。

続いて、次のページ、企画費となりますが、対前年比187万5,000円の減でございますが、これにつきまして一番減の大きな理由といたしましては、次のページにいきますと、本年度ですと工事請負費で無線LANという部分で848万9,000円ほど当初予算でとっておりましたが、それがございませんのでそれが皆減となっております。

逆に、ふえたという部分になりますと、それに伴います委託であったり使用料であったりというものが逆にふえてきていると。それともう1点ふえた中では、委託料の下から2つ目で業務委託料と書いてあるのがあると思います。254万1,000円でございますが、これにつきましては、来年度町勢要覧について整備をしていきたいと。町勢要覧も、つくって10年を経過いたしましたので大分古くなったということがございますので、整備をしていきたい。ただし、これにつきましては、来年度の当初予算で計上させていただいておりますが、来年度はおわかりのとおり町長選挙、町の議員の皆様の選挙というのもございます。そういう方々のお写真等も掲示をしたいと考えてございますので、もしかしなくてもなんですけれども繰越明許でお願いするような事業になるかもしれない。当初からそうなるだろうなど。そうではない

と、最初からなかなか、資料を集めたり整備をしていくというのがなかなか難しいというふうになりますので、当初予算で上げさせていただいてこのような話をするのは大変恐縮なんです、そのような形で整備をしていきたいというふうに考えているところでございます。皆増となったところはそのような部分です。

それと、次のページにいきまして、皆増となったところが、負担金補助及び交付金の中で下から4つ目、テレビの難視聴の解消事業につきまして、来年2地区からの要望がございまして398万9,000円が皆増となっております。それと、このページの上から2つ目となりますが、地域づくり推進のやつで当該年度は100万円でございましたが、来年度は300万円ということで200万円がここでふえていると。あと、その上のコミュニティ助成については、本年度よりも190万円ほど減っております。

このような部分で、企画費としては総体として180万円ほどの減額というふうになります。

次に、47ページをお開きください。

支所及び出張所費でございますが、これにつきましては、何回もお話ししているとおり、支所の公共施設の部分の統合の施設をつくりたいという部分でございますので、それに伴います工事請負費並びに委託料等が皆増となっておりますので、その部分で6億3,557万2,000円の大きな増となったところでございます。

次の48ページになりますが、交通安全対策費でございますが、これにつきましては、交通教育専門員の任期が3年という部分で来年更新の時期になっておりますので、更新の時期になりますと、衣類等についてはもう3年たってそのまま使っておりますので新しいものに更新をするというふうにしたいと考えておりますので、その部分で若干ふえているという部分でございます。

続きまして、49ページになります。

後継者緊急対策費でございますが、本年度に対して22万4,000円、これにつきましては、後継者緊急対策費の委託料という部分で、婚活の関係で本年度の実績を勘案いたしまして32万4,000円の減でございます。逆に、本年度ふえたものとしたしましては、負担金補助及び交付金という部分で、はぴ福なび登録料の補助金という部分でございますが、これは独身男性のための出会いの場を見つけるためのはぴ福という部分に本人が登録して、そこから女性等が紹介されるというシステムになっております。その部分での登録料が1万円かかりますので、その2分の1で20名分ほどを計上したいという部分でとらせていただきました。

続きまして、諸費でございますが、これについては872万7,000円の減となっておりますが、

これにつきましては、本年度防犯カメラ等の購入という部分で備品購入費を持っておりましたが、それが皆減となっておりますので減額となったところでございます。

土地利用計画策定費については、本年度の実績等を見まして1万円の増とさせていただきました。

続きまして、次のページになりますが電算管理費でございます。2,561万5,000円の大きな増となっておりますが、これにつきましては、パソコンの今使っております部分のシステムについて、もう大体更新期限が来ておりまして更新しなければならないという時期になりましたので、それに関係しての備品購入費という部分で庁用備品購入という部分で2,325万9,000円という部分でございます。これが大きな増の理由となっております。ウィンドウズ7を使っているんですが、ウィンドウズ7についてはもうサポートが終わったという部分でございます、10のほうに切りかえなければならないというふうになります。これはこの後も出てくる場所がありますが、そういう意味で備品購入費という部分がどうしても必要になってきているという部分でございますので、ご理解をお願いしたいというふうに思います。

行財政改革推進費につきましては、増減はございません。

庁舎管理費について210万7,000円の増となっておりますが、これにつきましては、需用費の修繕費でございますが、皆さん、役場に入るときにもうお気づきになっていると思いますが、正面玄関のタイル等が脇のほうがもう今、剥がれております。そういうものの修繕をしたいという部分とLEDについてまだ残っている部分がありますので、それをしていきたいという部分で233万9,000円ほど修繕費で増加となっておりますので、それが大きな理由でございます。

次の51ページになります。

町民バス管理費でございますが、51万5,000円という部分でございます。本年度の実績等を見込みまして、あとはバスの経年劣化分に伴います修繕費の増という部分も見込みまして51万5,000円を見込ませていただきました。

次のページにいきまして、徴税費の徴税総務費で302万6,000円の増となっておりますが、これにつきましては、人件費の1人分の増と言われるもので190万9,000円が大きい増となった理由となっております。それと、次のページにいきまして、委託料でございますが、システム改修委託料とございますが、次期のeLTAXのシステムの改修という部分と地方税の関係での納税システムという部分がございますが、その改修をしなければならないという部分ありましたので、167万4,000円が皆増という形でふえたという部分で、合わせて300万

円の増となりました。

賦課徴収費としては、33万3,000円の減額を見込ませていただきました。これにつきましては、委託料の部分での増減があったものと計算センターでの負担金が、次のページになりますが、576万2,000円となっておりますが、ことしと比較いたしまして今年度より373万6,000円ほど安くなっております。そういう部分もありますので、それに伴いまして逆に委託料の中で鑑定委託料421万1,000円と上がっていますが、それが3年に一度の標準宅地の鑑定が来年度実施しなければならないとなりますのでその分で330万円ほど増額となったという部分で、合わせますと33万円ほど減額となっております。

戸籍住民基本台帳費については、101万6,000円の減となっております。これにつきましては、今ほど申し上げましたが、計算センターの負担金の部分で、次のページになりますが、来年度は230万9,000円となっておりますが、99万8,000円ほど当該年度より減額となっておりますので、その分が大きな理由となっております。

続きまして、選挙費でございますが、選挙管理委員会費で11万9,000円でございますが、これにつきましては職員給料の増でございます。

次の56ページになります。

町長選挙費につきましては、皆増でございます。

次のページになります。

57ページ、町議会議員選挙費についても629万7,000円、皆増でございます。次のページになりますが、県議会議員選挙費579万5,000円も皆増でございます。最後になりますが、59ページ、参議院議員選挙費702万6,000円という部分で皆増となります。ばらばらのように見えますが、告示日から投票日までの間の期間というものを勘案いたしまして、このような形で超過勤務であったりそういうものが変わってくるというふうになりますので、告示期間が長ければ当然期日前投票日も長くなります。そういうものがございますので、こういう形で選挙の経費が変わってくるというふうになります。

次の60ページの県知事選挙については、本年度だけでございましたので、終わりましたので皆減となっております。

次の統計調査費につきましては、102万9,000円の増となりますが、これも先ほど歳入のほうで申し上げましたが、本年度農林業センサスをやる年になりますというお話を申し上げましたので、それに伴います増という部分が一番大きい理由でございます。当然2020年为国勢調査の年になると。その前の年が農林業センサスをやる年というふうになっています。

次の61ページになりますが、監査委員費でございますが、これはほとんど変わっておりません。

次の62ページ、民生費、社会福祉費の社会福祉総務費でございます。168万2,000円の増となっておりますが、これにつきましては、給料の職員給のほうで241万9,000円ほど1人分ふえております。事務補助賃金といたしまして本年度当初は持っていたんですが、その分で117万3,000円ほど減額となっておりますので、その差額分と言われるもので168万2,000円ほど増額となっております。

続きまして、64ページになります。

老人福祉費でございますが、対前年比939万5,000円となっております。これにつきまして大きな減額となった理由といたしましては、工事請負費等で本年度よりも、本年度のぞみ等の改修部分、修繕費がありましたので、それと比較して330万円ほど減額となっております。それと後期高齢者医療の負担金の関係で合わせて360万円ほど負担金の部分で減額となっております。それと、66ページになりますが、繰出金のほうで672万2,000円ほど減額となっているという部分で大きな減額がそれぞれあったというところでございます。それとは逆に、備品購入費の機械器具購入費114万円、65ページにございますが、これが皆増となっております。これはのぞみのほうにあります食器洗浄機並びに冷凍冷蔵庫が経年劣化でもう非常に壊れそうな状態にあるという部分でございますので、それを更新したいという部分でございます。それとAEDを1台購入したいという部分で41万1,000円が計上されてございます。

続きまして、次のページになります。

66ページ、国民年金費でございますが、これにつきましては対前年比11万8,000円の減となっておりますが、この大きな理由といたしましては、計算センターの負担金で27万6,000円ほど減っておりますがそれが大きな理由です。あとは給料等の部分での増があるという部分になりますので、それとの相殺になります。

続きまして、次のページになります。

67ページ、障害者福祉費でございますが、476万5,000円の減となっております。これにつきましては、先ほどもいろいろ出てまいりましたが、扶助費の部分、委託料の部分等で見込みを立てさせていただきまして、それぞれ委託料では総額で199万1,000円、扶助費で275万8,000円という部分で減額となりまして、総額でこのような結果となっております。ちなみに、介護給付費では、対前年比と比較いたしまして306万円ほど減額してございます。

続きまして、児童福祉費でございます。児童福祉総務費につきましては126万2,000円の増

となつてございます。これの一番大きな理由といたしましては、次のページになりますが、委託料と備品購入費という部分でございます。備品購入費で遊具購入費という形で書いてございますが、これはエア―遊具、空気を膨らませて中に子供さんたちが入って遊ぶようなものでございますが、その赤べこバージョンをつくりたいというような考え方でございます。それを委託料という部分で、設置する場所といたしましては、やはりいろいろ考えたんですが、芝生がある場所がいいだろうという部分で、今の道の駅の芝生のところに設置したいと。そうしますと、必然的にあそこの施設を管理している振興公社のほうに管理の委託を出したいという部分で、この業務委託料というのは、そのエア―遊具の管理業務、設置して空気を入れて膨らませて、子供さんたちが入っているときに安全を確かめながら一緒に、監視をするということをやっていただきたいという部分でとらせていただいたものでございます。

続きまして、柳津保育所運営費でございますが、220万1,000円の増でございます。これにつきましては、ふえたところとしては次のページになるんですが、備品購入費でございます。備品購入費の部分で施設用備品という部分で211万9,000円という部分で皆増となっております。

続きまして、西山保育所についても158万9,000円ほどふえておりますが、これにつきましては、人件費の部分の増と次のページの備品購入費で施設管理用備品がふえてございます。児童用のロッカーやAEDを買いたいという部分でございますので、そういうものがふえている部分でございます。両方の保育所も内容的には同じです。AEDだったり幼児用ロッカーというものを考えているという部分でございます。ロッカーについては、森林環境税を使いたいという部分で補助金を入れてつくっていききたいというような考え方を持っております。

児童措置費につきましては、201万円の減額となっております。これは、児童手当等の減額部分が大きな理由となっております。対前年比で扶助費で198万円ほど減額となっております。

次のページにいきまして学童保育費でございますが、これにつきましては222万6,000円ほどの増額となっております。これにつきましては、共済費及び賃金の部分で指導員という部分について、今、子供さんについては1年生から6年生まで預かっておりますが、多動の子供とかいろいろございますので、指導員と言われる者を1名ではなかなか見切れないという部分がございますので、来年2名体制にしたいという部分で考えてございます。この指導員になる方も保育士の免許を持った方という部分で今考えておりますので、ひとつよろしく

お願いをしたいというところでございます。

母子福祉費でございますが、139万7,000円の増となっておりますが、これは報償費の部分で子育て応援金が平成31年度より改正するという部分が大きな理由でございます。一律7万円だった出産祝金を1人目が10万円、2人目20万円、3人目以降30万円とするというもので、なおかつ、2分の1は現金、残りを商品券で交付するというような形にしていきたいという部分でございます。

次の75ページになります。

災害救助費については、変わりはありません。

衛生費の保健衛生費でございます。728万2,000円の減額となりますが、これは次のページの国保施設勘定の繰出金の減が大きな減となったところでございます。これは、今年度につきましては機械器具の医療器具を買いたいという部分がございますので、それで1,500万円ほどありましたので、それがなくなりますので減額となる部分でございます。

予防費につきましては、169万3,000円ほどの増額となったところでございます。これにつきましては、77ページになります備品購入費、パソコン等購入費、これは先ほど庁用備品のほうでお話ししましたとおり、衛生費でも衛生のほうで使っているシステムのパソコンについてもウィンドウズ7から10のほうに変えたいという部分で127万5,000円が皆増というのが一番大きな理由となったところでございます。それと、次のページの扶助費の上に健康づくり推進事業補助金100万円という部分があると思いますが、これが各世帯等で使っていただけるような形で減塩対策であったり、血圧測定であったりする部分についての血圧計を購入したり、減塩計を購入した場合の一定額を決めましてそれを支援していきたいという部分で100万円を見させていただいたというところでございます。

続きまして、環境衛生費でございますが、2,079万8,000円の対前年比の減、これにつきましては、簡易水道等の特別会計の繰出金の減でございます。簡水につきましては、今年度は簡水の統合事業が終わっておりますので来年度減るというふうになります。

母子保健費については160万円の増となりますが、これにつきましても、次のページになります委託料の中でシステム改修委託料というのがあると思います。118万8,000円、これが健康管理のデータシステムの改修がございまして、マイナンバー等と連動するというふうにしたいという考えがございますので、そのシステムの改修という部分が皆増となったという部分で大きな理由でございます。

次のページにいきまして、清掃費の塵芥処理費で86万5,000円、これにつきましては、ふ

えた理由は委託料の中で業務委託料という部分がございますが、これは産業廃棄物最終処分場の見学ツアーをしたいという部分で、これは補助金100万円の関係が歳入で受けますので、そういうものを実施したいという部分でふえています。需用費等でも、28万円ほど印刷物をつくりたいという部分がありますのでふえているという部分になってございます。

続きまして、衛生費、衛生処理費でございますが、179万8,000円の増となっておりますが、これにつきましては次のページになりますが、滝原のごみの最終処理場の管理負担金が本年度と比較いたしまして83万8,000円ほどの増、その下の会津若松広域市町村圏の組合の環境センター負担金で101万3,000円の増となっております。滝原の処分場につきましては、だんだん最終的な手当をしていかなければならないというふうになってまいりましたので、本年度から水質検査、測量設計等を実施してどのような形である処分場を最終的に直していくか、修繕していくかということを決めなければならないというふうになってまいりますので、それに対する負担金というものが発生してきているという部分です。負担割合としては、柳津、金山、三島、昭和でそれぞれ負担割合を持って負担していくというふうになります。

農林水産業費の農業費で農業委員会費につきましては、対前年比で実績見込みで5万5,000円の減でございます。

農業者年金事務費についても、同様に5万8,000円の減でございます。

83ページになります。

農業総務費で230万円の減となっておりますが、これにつきましては、本年度は農業総務費で軽自動車1台200万円の購入をしたいというのがございましたので、それが皆減しておりますので、それが大きな理由です。

農業振興費で1,282万4,000円の減となっておりますが、これにつきましてはの一番大きな理由といたしましては、負担金補助及び交付金の中で大きく減額がされているという部分と給料等で職員給について1名分がここで減額となっておりますので、620万7,000円、給料、職員手当で減っている、負担金補助で総額で540万円ぐらい減っているというふうになります。

85ページをお願いします。

85ページで減ったものとしたしましては、下から2つ目と一番下になりますが、農業次世代人材投資資金が5人から3人に減るという部分になりましたのでその分で300万円の減。これは歳入でも申し上げましたが未来の農業を担う、これが町の単費分の部分でございます。これも2人分減りますので、対前年比で240万円の減。それと、次のページにいきまして、

水稲経営安定化事業補助金でございますが、本年度より半額という補助になりますので、263万7,000円の減というふうになっておりますので、合わせまして減額となったところでございます。

86ページ、農地費でございますが、本年度と変わらず大体3万円の減となっております。

次のページになります。

87ページ、地域農政特別対策事業費で90万8,000円の減という部分でございますが、これは、一番多いのが普通旅費の部分で67万5,000円が減額となっております。これはJA会津よつばのトップセールスの部分で減っておりますので、その分が大きな理由となっております。

88ページにいきまして、農村総合整備事業でございますが、これにつきましては、それぞれの特別会計に対する繰出金の部分で農業集落排水での繰出金の増、簡易排水での繰出金の減がございましたので、このような形になっております。

国土調査費につきましては107万7,000円の減額となっておりますが、これは測量設計委託が委託料、本年度156万円ほど当初予算でありましたが、それがございませんので皆減となっておりますので、それが大きな理由となっております。

次の89ページになります。

中山間地域等直接支払事業でございますが26万9,000円の減、これにつきましては、集落補助金の部分での本年度の実績を見まして減額となったところでございます。

次のページになります。

林業費です。林業総務費22万8,000円につきましては、需用費等の減額というところでございます。

続きまして、林業振興費でございます。1,449万9,000円の減となっておりますが、これにつきましては、本年度は地域おこし協力隊の部分についてふえているという部分がございます。地域おこし協力隊、昨年は賃金の部分で被害対策リーダー分という部分で臨時職員分で計上しておりましたが、来年度は地域おこし協力隊分という部分で計上したいという部分がございますので、そこは合わせて120万円ほど地域おこし協力隊のほうにふえるんですが、そのような形で組み替えをしております。続いて、一番大きいのがやはり、次の91ページにいきまして、委託料でございます。委託料の森林整備業務委託並びに計画委託という部分で、合わせてここで1,300万円ほど減額となっておりますので、ここが一番大きな理由と考えてございます。

続きまして、93ページをお願いいたします。

林道費でございます。対前年比で9,109万9,000円の減でございます。これにつきましては、林道の藤塩峯線5,200万円、新鶴柳津線の部分で1,680万円の工事請負費を本年度とっておりますが、それが皆減となっておりますので大きく減っております。あわせて、本年度は飯豊桧枝岐線の部分については一括返済をしていこうという部分で当初予算で計上させていただきましたが、その分で2,219万円ほど減っていますという部分になりますので、合わせますと9,000万円というような金額が出てまいります。

林道維持費で129万6,000円ほど増額となっておりますが、このふえた理由といたしましては、測量委託の部分でございます。委託料の部分で測量委託料で55万円、これは皆増となっております。猿倉岳線の排水の設計委託をしたいという部分でございます。それと、次の94ページになります原材料費で、林道維持のための修繕の原材料費60万円をとらせていただきました。ここで50万円ほどふやしています。これは、林道の西向林道の砂利、要は長倉から搬出している部分がございますので、そのための道路が大分傷むという部分がありましたので、その部分についてはある程度原材料を出すしかないのではないかという部分で、町で原材料費を出して業者のほうに引いていただくと。そのようなことをしていきたいという部分でございます。

水産業費については、変わりございません。

商工費につきましてでございますが、商工振興費につきましては377万9,000円の減となったところでございますが、ここについての減の大きなものといたしましては、歳入のほうでも減となった風評被害対策の部分でのイベントの上の事業委託につきまして、160万円ほど対前年比で減額となっております。負担金総額で232万1,000円ほどの減額となっておりますが、それにつきましては、次のページの起業者支援事業については本年度は200万円とっておりますが、1人分の100万円を当初とすると。小規模事業者支援についても200万円とっておりますが、これについても80万円という部分で120万円ほど減らしているという部分で減額となっております。

観光費につきましては、198万7,000円の減額となっておりますが、これについての大きな減額の理由といたしましては、99ページまでいってしまうんですが、工事請負費でございます。工事請負費のほうで対前年比735万2,000円ほど減額となるという部分で、それと、本年度は備品購入費で庁車購入費を計上してございましたが、その分で135万4,000円ほど減るといふふうになってございます。あとは補助金のほうでございまして、大きく減ったというの

が観光協会の運営事業補助金強化分という部分で、去年までは事務局長というのがおりましたのでそれに対して348万4,000円を出しておりましたが、それが本年度についてはございません。組み替えてはございますが、霊まつり流灯事業補助金という部分で出してはおりますが、その分がなくなっております。

逆に、ふえたという部分でございますが、98ページになりますが委託料の中で上から2つ目、調査委託料というのがあると思いますが、入込客数の実態を把握する必要がないのかという部分で皆さんからいろいろ言われましたので、入込客数を円蔵寺等で調査したいという部分でそれを委託したいという部分で100万円ほどとらせていただきました。それと、その下の実施設計委託料200万円でございますが、柳津駅のところの公衆トイレの実施設計をしたいという部分で実施設計委託料200万円をとらせていただきました。これが皆増でございます。それと、その欄の中の下から2つ目でございますが、観光PR備品制作委託料という部分で325万8,000円ほどとらせていただきましたが、これについても皆増の部分でございます。あと、ふえた分といたしましては、大きいものとしては100ページになりますが、上から3つ目、丑・寅まつり実行委員会補助金、これについては丑寅まつりのための実行委員会の方に人件費分という部分で232万1,000円ほどとらせていただいたというところでございます。

続きまして、101ページになります。

土木費の土木管理費、土木総務費でございますが、48万5,000円ほど減額となっておりますが、これは、本年度が入札参加者資格申請の時期となっておりますので、そのための臨時職員の賃金を計上しておりました。それで56万4,000円ほど減っておりますので、それが大きな減額の理由でございます。

次のページにいきまして、防雪サブセンター管理費でございます。308万2,000円の増となっておりますが、この増の大きな理由といたしましては、工事請負費で300万円ほどとらせていただいておりますが、これは小ノ川の除雪格納庫のシャッターを整備したいという部分でございまして、そのために300万円の皆増となったところでございます。

続いて、道の駅管理費でございます。38万1,000円の減となったところですが、これにつきましては、道の駅の管理の委託料で35万6,000円、次のページに委託料がありますが、そこが減ったという部分でございます。

土木費の道路橋梁費、道路維持費でございますが、6,451万1,000円の増となったところでございますが、この増の部分としては需用費の部分で1,210万7,000円、全体としてふえて

おります。その中で一番ふえているのが修繕費でございます。機械等、経年劣化の部分がございますので、1,024万4,000円の修繕という部分がことしよりもふえているというふうになってございます。燃料費についても、先ほども補正がありましたが見込ませていただいているという状況でございます。いずれにしても雪の量とかそういうものによって若干変わってくる可能性はあるというふうに考えてございます。あとふえた分といたしましては、工事請負費でございますが、工事請負費の中で施設改修工事8,000万円と上がっていますが、これが竜蔵庵上村線の消雪配管工事の部分でございます。本年度もっておりますが、ここでことしよりも5,500万円ほどふえますので、この部分が大きなふえている理由の1つとなっております。

続きまして、次のページになりますが、道路新設改良費でございます。603万6,000円の増となっておりますが、これにつきましては、次のページになりますが、工事請負費でございます。工事請負費の中で2,380万4,000円ほど去年よりもふえているという部分がございます。これにつきましては、道路改良費について五疊敷大成沢線で3,110万4,000円、工業団地線の部分で3,000万円ほどとらせていただいておりますので、そういう部分がございます。それと施設改修工事820万円上がっておりますが、これは橋梁の修繕をしたいという部分で計上させていただいたというところでございます。逆に減った部分といたしましては、道路ストック総点検事業でございますが、点検をしていくということは、修繕しなければいけないものが当然出てきますので、なかなか修繕まで至らないのに実施設計までの点検をしていくのはどうだという部分も考えましたので、点検については少し抑えさせていただきまして、補修等のほうでできるものであれば社総金のお金を使っていきたいという考え方を持たせていただきました。ということで、委託料としては総額で1,910万円ほど減額をさせていただいております。

次のページになります。

河川費でございます。河川総務費では118万2,000円ほど減額となっておりますが、これにつきましては、ことしの当初予算で工事請負費で小柳津沢の根継工400万円を計上しておりましたので、それが皆減となっておりますのでそれが大きな理由です。逆にふえたものとしたしましては、委託料の中で河川浄化委託料とありますが、これにつきましては竜蔵庵川の浄化という部分をここで考えてございます。それと使用料及び手数料の中で、重機を借り上げをして河川の中の整備を一緒にしたいというような部分もありますので、ここがふえたという部分でございます。

続きまして、都市計画費でございますが、下水道費で276万4,000円の増でございますが、これは下水道事業特別会計への繰出金の増でございます。

続きまして、次の107ページになります。

住宅費となります。公営住宅管理費でございます。3,926万6,000円の減額となっておりますが、これにつきましては、工事請負費で今年度は大平団地2号棟の外壁の改修工事4,870万円を当初予算でとっておりましたので、それが皆減となりますのでその分で減額となります。あとは、人件費分で今ここでとっている人件費は、再任用職員の給料と職員手当でございます。これはフルタイムではございませんので、非常に金額的に低い金額をとらせていただいているというふうになっております。

続きまして、公営住宅整備等事業費でございますが、1億5,825万5,000円という部分で伸びておりますが、これにつきましては工事請負費の公営住宅の建設工事という部分で、これが大きな伸びた原因でございます。

消防費の非常備消防費でございますが、471万円の減額となっております。これの大きな理由といたしましては、本年度につきましては民友旗受賞分といたしまして当初予算で240万円ほどとっておりました。その分についての減額、それと広告料の部分での減額150万円ほど、あとは団旗の部分での更新、備品購入費を考えておりましたので、それで224万3,000円ほど大きく減額をしたというところでございます。逆にふえる部分といたしましては、消防用の備品135万6,000円という部分で、この辺で少しふえているという部分がございます。

続きまして、消防施設費でございます。727万3,000円の増となっておりますが、これにつきましては、大きな増加の理由といたしましては工事請負費でございます。防火水槽の設置工事という部分でございますが、これにつきましては、設置場所の関係でどうしても防火水槽以外の附帯構造物の修繕が必要になるという部分の場所がございますので、設計をしたところ少し高くなるという部分がわかりましたので、その分で250万円ほど増となります。あとは、消火栓等の改良という部分で消火栓の新設で1カ所、消火栓の改修部分で本年度4カ所ほど見させていただきますという部分で386万円、工事請負費で対前年比で610万円ほど伸びておりますので、それが大きな理由の1つとなっております。

防災費でございますが、防災費については4,729万6,000円の減でございます。これにつきましては、次のページになりますが、工事請負費の減額が一番大きな理由でございます。継続費で先ほど補正予算で減額をさせていただきましたが、年割額の2年目と言われてもこれだけ減額になるというふうになりますので、4,720万円ほど本年度30年度の年割額と比較し

でも安くなるという部分でございます。

広域消防費につきましては、負担金の部分での減額で688万3,000円です。

続いて、次のページになります。

教育費、教育総務費の教育委員会費でございますが、これにつきましては3万1,000円ほど実績見込みで減額となります。

事務局費でございますが、1,212万円の増となりますが、これにつきまして大きな理由といたしましては、先ほども出てまいりましたが、114ページでございます備品購入費になります。バス購入費で1,073万1,000円、高森線でございます。これが伸びた大きな理由でございます。

続きまして、115ページになります。

教員住宅管理費でございます。10万円については、修繕費の部分について少し10万円の存目では少し足りない部分が今出てきておりますので、修繕費で10万円ほど多くとらせていただきました。

次のページになりますが、教育費、小学校費の柳津小学校管理費でございます。2,469万円という増額となっておりますが、これにつきましては、次の117ページの工事請負費でございますが、ここで施設改修工事とありますが、これが体育館の屋根の改修工事、それ以外もございまして、3,000万円という部分でございます。この部分で対前年と比較しますと2,439万7,000円の増、本年度については体育館のLED等のほかで560万円ほど当初予算でとっておりましたが、それと比較いたしますと2,400万円ほどふえるというふうになります。

西山小学校の管理費で193万7,000円ほど増となっておりますが、これにつきましては、臨時職員の部分の組み替えという部分もございまして、委託料だったものを賃金に組み替えたという部分と光熱水費という需用費の部分で、ここが一番大きいんですが、156万円ほど増額となっております。それと、118ページの工事請負費でございますが、これにつきましても、塗装工事という部分でことしの工事請負費と比較したところ90万7,000円ほどふえているという部分になります。

119ページになります。

柳津小学校教育振興費で422万6,000円となっておりますが、この一番大きな理由といたしましては備品購入費でございます。備品購入費のICT機器の購入という部分でございますが、これが419万円という部分がございます。対前年比の備品購入費と比較いたしますと、ここで422万6,000円ほどの増額となっておりますので、増額の全てが備品購入費となるとい

うふうになります。

次のページにいきます。

西山小学校教育振興費82万6,000円という部分でございますが、これにつきましては減額となっております。この減額の理由といたしましては、パソコンのリースにつきましてでございますが、リースの部分でふえたり減ったりしている部分もあるんですが、リースを延長しようというふうにしましたので、それに伴います使用料の減、備品購入費につきましては当該年度よりも逆に50万8,000円ほど減っております。

続きまして次のページにいきまして、中学校費の会津柳津学園中学校管理費でございます。1億211万8,000円の減でございますが、これは、次のページの工事請負費が本年度はグラウンド改修ほかで1億2,000万円ほど計上しておりましたので、ここが大きな減額の理由でございます。

続いて、次の122ページになりますが、会津柳津学園中学校の教育振興費で405万円となっておりますが、これにつきましては、特別支援員の賃金の435万8,000円の減が一番大きな理由となっております。

続きまして、次の123ページ、西山中学校管理費でございますが、これにつきましては皆減となっております。なお、西山中学校の部分の光熱水費等については、若干ではございますが、西山小学校のほうの光熱水費のほうで少し払わせていただきたいという考え方を持っております。まだ総合の庁舎ができませんし、発注するまでの間についてはどこも支出するところがありませんので、少し持たせていただいております。

続きまして、教育費の社会教育費でございますが、社会教育総務費につきましては643万9,000円の減額という部分でございますが、これにつきましては一番大きな理由といたしましては、海外派遣事業が今年度はございましたが、来年度はないという部分で867万4,000円、これで減っておりますので減額の大きな理由でございます。あとは人事異動、昨年度やっておりますので、それに伴う職員給の部分で120万円ほどふえておりますので、それとの相殺という部分で640万円ほど減ったという部分でございます。

125ページになります。

公民館費でございますが、224万3,000円の減額となっておりますが、これにつきましては一番大きい減額の理由といたしましては、次のページになりますが、負担金補助及び交付金でございます。集会所の改修補助金でございますが、当該年度に比較いたしまして146万円ほどここで大きな減額となっておりますので、その分での減。それとその上の備品購入費で

ございますが、本年度で備品購入費、カラーリング用品という部分で当初予算で43万9,000円ほど見込んでおりましたが、その皆減という部分でありますので、合わせますと200万円近くの減額となるという部分でございます。

文化財管理費でございますが、21万4,000円の増となります。これにつきましては、127ページの需用費の修繕費となります。緑の文化財に指定されております孫太郎松の支柱の修繕をしたいという考え方で、修繕費で46万5,000円ほどとらせていただきました。ここで22万5,000円ほど対前年比で伸びてございますので、それが増加分でございます。

活性化施設管理費でございます。326万3,000円の減額となっておりますが、これにつきましては、本年度冷暖房の空調機械の修繕を302万4,000円で当初予算で見込んでおりましたので、それが減額となっておりますのでそれが大きな減の理由でございます。

続きまして、128ページになります。

美術館管理費でございます。410万7,000円の減額となっておりますが、この大きな減額の理由としましては、今年度はアトリエ館のトイレ、浴槽、洗面所等の改修という部分で588万1,000円ほど計画しておりましたが、それが次年度ございませぬのでその分が減額となった大きな理由でございます。逆にふえたという部分が、地域おこし協力隊については2人から3人という部分で当初予算で見込んでいます。これは3人分で見込んでいますので、その分がふえてございます。

続きまして、130ページになります。

美術館事業費でございます。236万2,000円ほどの増額となっておりますが、これにつきましてふえた大きな理由といたしましては、委託料の中の業務委託料という部分でございますが、これにつきましては、山口県の周南市のほうから美術品を借りて展示をしたいという部分でございますので、その輸送業務の委託料という部分で160万6,000円、これが皆増という部分でふえている大きな理由でございます。それとその上の役務費の動産保険料76万2,000円、これが同様の輸送費に係る動産の保険料となりますので、その分を合わせまして増加となった要因となっております。

続きまして、131ページをお開きください。

保健体育費、保健体育総務費では56万4,000円ほどの減となっておりますが、これにつきましては、当該年度の実績等を勘案いたしまして賃金や使用料などを見合わせたところ、56万4,000円の減額に至ったというところでございます。

133ページをお願いいたします。

学校給食費でございますが、対前年比251万1,000円というふうになっております。これにつきましては、一番多く減ったのは需用費の光熱水費でございます。本年度は少し安全策をとらせていただいた部分もありましたので、この分で199万1,000円という部分で約200万円程度見込みが落ちています。あと消耗品費については、本年度は当初という部分でいろいろな消耗品で不足が生じるだろうという部分がありましたので少し多目にとらせていただいたという部分がありますので、ここで約40万円程度減っておりますので、合わせますと250万円程度の減という部分がございます。

続きまして、135ページになります。

運動公園管理費でございます。216万8,000円の減となっております。減の大きな要素といたしましては、本年度は体育館の屋根の塗装工事という部分で1,131万円ほど当初予算で計画をしておりましたが、次年度については施設改修費という部分でプールの塗装工事という部分で計画をしておりますが、その差額分の264万7,000円程度が減額となるという部分が大きな理由でございます。それと、本年度は職員給1人分を当初予算で見込んでおりましたが、来年度については賃金で1人分を見込んだという部分と施設管理委託料という部分で136ページの委託料、施設管理委託料という部分でございますが、これがB&Gの施設管理の業務委託料という部分で600万1,000円という部分でこれが皆増となった金額となっております。あとは、備品購入費でも対前年比で160万円ほどふえているという状況でございます。

137ページをお願いいたします。

災害復旧費でございます。農林水産業施設災害復旧費並びに公共土木施設災害復旧費、町単独災害復旧費については、全て本年度と同額を計上させていただきました。

138ページの公債費でございますが、元金及び利子については、それぞれ今後の償還金額を出しまして計上させていただいたというところでございます。

139ページになりますが、諸支出金については1,000円、存目となります。

予備費については、2,360万5,000円をとらせていただいたというところでございます。

続いて、151ページをお願いします。



○議長

ここで暫時休議します。

再開を2時50分といたします。（午後2時37分）

○議長

議事を再開いたします。（午後2時50分）



○議長

引き続き、説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（登壇）

それでは、引き続き特別会計の説明に入らせていただきたいと思います。その前に特別会計のご説明につきましては、大変申しわけございませんが、本来であれば款項までは議会のほうでご説明するというのが通例でございますが、昨年度から款という部分での比較でご説明をさせていただいておりますので、そのような形での説明とさせていただきますのでご了承をお願いいたします。

151ページとなります。

議案第41号「平成31年度柳津町土地取得事業特別会計予算」でございます。

歳入歳出それぞれ3万3,000円としております。一時借入金については100万円を見込んでございますが、これにつきましては、重点事業でも書かせておきましたが、土地については物色をして該当する土地がありましたら補正をお願いしたいというような考え方を持たせていただきましたので、そういうことを勘案して一時借入金についてはこのような金額を上げているという状況でございます。

続きまして、154ページをお願いいたします。

151ページの総括の歳入となります。ここが本年度、前年度と比較することのできるものとなっております。前年度と比較して減ってございますのが、財産収入並びに繰入金でございます。これにつきましては、昨年度は1区画の分譲の歳入を見込んでおりました。なお、繰入金につきましては、桐ヶ丘の設計等を見込んでいたということがありますので、これが廃款となりましたので623万7,000円の減というところでなっております。

それが後ろのページにいきまして歳出という形になりますので、団地造成費の部分で351万9,000円の減、繰出金で270万6,000円の減というふうになってございます。これにつきましては、先ほどご説明したとおりという部分で細越下平分譲地の1区画分の売払収入の減、並びに測量設計委託の減の300万円という部分でございます。

158ページをお願いいたします。

議案第42号「平成31年度柳津町国民健康保険特別会計予算」でございます。

事業勘定の歳入歳出それぞれの総額を4億9,600万円とし、施設勘定につきましては8,350万円とするものでございます。一時借入金については、事業勘定で1億円、施設勘定で1,600万円を見込ませてもらうものでございます。

162ページをお願いいたします。

総括の歳入となります。対前年比で比較いたしますと、総額で1,800万円の減額となっております。これにつきましては、歳入ですと国保税につきましては260万7,000円ほど増額となっておりますが、本年度については国保税の税率の改定は見込んでおりませんので、本年度と同様の率で計算をしていると。ただ、所得の関係で、現在の状況に応じて260万7,000円の増額となったところでございます。県支出金については、医療費の見込みの減に伴うものの1,338万円という部分の減額を見込んでいるという部分でございます。

続きまして、歳出でございます。

歳出につきましても同様でございまして、この中で大きく減っているという部分につきましては、保険給付費について見込みが本年度で計算したところ減額となるという部分でございます。それと、逆にふえたものとしたしましては、保健事業費でございまして、特定健康保健等の部分でふえているという部分がございますので、この部分で少しふえているという部分でございます。総務費で減っている部分については、計算センターの負担金の減額でございます。諸支出金でも減額となっておりますが、これは施設勘定で本年度は医療機器の購入分を見込んでおりました。それに対して事業勘定のほうで交付金をいただけるとなっていますが、その分が減額となりましたので、当然繰入金という部分では減ってくるという部分になります。

続きまして、192ページになります。

国民健康保険の施設勘定となります。歳入歳出ともにそれぞれ対前年比580万円の減額となったところでございます。診療収入につきましては、先ほどの補正予算でも申し上げましたが、昨年度については当初予算で安全面をとらせていただいたということがございましたので、本年度は当該年度の見込みという部分を勘案いたしまして868万8,000円ほどの増を見込んでおります。繰入金については、医療機器分の繰入金が減額となっておりますので、1,600万円ほどの減額が出てきているという部分でございます。

続きまして、次のページになります。

歳出となります。

総務費のほうで941万9,000円ほど増額となっておりますが、これにつきましては、本年度

大根下のほうの医師住宅、今まで平上先生が使っていた医師住宅でございますが、あの住宅についても内部を改修したいという部分を考えてございまして、その分として工事費で1,400万円ほどふえてございます。増減をしておりますので、総体では940万円ほどしかふえておりません。続いて、医薬費のほうでは、本年度エックス線装置等の医薬器具等の購入で1,500万円ほど当初予算で見込んでおりましたので、それがございませぬのでその分の1,500万円が減っているという部分となっております。

続いて、209ページになります。

議案第43号「平成31年度柳津町後期高齢者医療特別会計予算」でございます。

歳入歳出総額をそれぞれ5,080万円とするものでございます。一時借入金については、1,000万円とするものでございます。

212ページをお願いいたします。

歳入の総括となります。歳入歳出ともに対前年比120万円の減となっております。保険料につきましても、30年度の保険ベースでの見込みを立てまして112万3,000円の増を見込んだところでございます。繰入金につきましても、保険基盤安定基金の繰入金の減に伴いまして219万6,000円の減と見込んでおるところでございます。

続きまして、次のページをお願いいたします。

大きく減額となっております広域連合納付金につきましても、保険料等の負担金見込額の減に伴うものという部分が一番大きな理由となっております。

続きまして、228ページをお願いいたします。

議案第44号「平成31年度柳津町介護保険特別会計予算」でございます。

歳入歳出それぞれ総額で5億4,400万円と定めるものでございます。一時借入金については、1億800万円と定めるものです。

233ページをお願いいたします。

歳入、総括でございます。対前年比3,300万円の減となっております。大きなものとしては、保険料の部分では本年度の実績を見込んだところ49万9,000円の増となったところでございます。国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、繰入金等につきましても、次ページの歳出のほうになります。保険給付費、総務費等の減額に伴いますルール分での繰入金あるいは補助金の額の減額となったところでございます。

歳出のほうとなります。保険給付費ベースは30年をベースとして給付費を見込んだところ、約3,900万円ほど減額となるという部分になりました。逆に、地域支援事業につきまし

ては、30年度ベースでいきますと介護予防生活サービスの給付費等が伸びておりますので、1,344万2,000円ほど増額となっております。なお、予備費については600万円ほど調整をさせていただいたところでございます。

260ページをお願いいたします。

議案第45号「平成31年度柳津町簡易水道事業特別会計予算」でございます。

歳入歳出それぞれ総額を1億5,840万円とするものでございます。一時借入金の限度額を3,100万円と定めるものでございます。

263ページをお願いいたします。

歳入歳出ともに1億3,860万円を減額するものでございます。これにつきまして、使用料及び手数料につきましては、当該年度の使用料等の見込みを立てまして、それと同時に条例改正等を出させていただいております。消費税分での見合いの部分という部分でのあれがおりますので、そういうの見込みましたところ、333万1,000円の増という部分が出てまいりますので、今回補正をさせていただいたというところでございます。なお、繰入金と国庫支出金、町債につきましては、本年度は簡易水道の統合整備という部分で事業を実施していましたが、次年度はそれがございませぬのでその分の減額が大きな理由となっております。諸収入につきましても減額となっております。

続きまして、次のページになりますが、歳出となります。

歳出については、今ほど申し上げましたとおり、簡易水道統合整備事業が平成30年度で完了いたしました。1億5,085万7,000円という部分で簡易水道の統合をやっておりましたが、それが来年度は皆減となっておりますので、それが大きな原因となって1億3,860万円の減となったところでございます。

280ページをお願いします。

議案第46号「平成31年度柳津町町営スキー場事業特別会計予算」でございます。

歳入歳出それぞれ963万円とするものでございます。一時借入金の額を200万円とするものです。

283ページをお願いいたします。

歳入並びに歳出の総合といたしましては13万円の増となったところでございますが、これについては、次のページになりますが、スキー場事業費のほうでは対前年比と同じということ、ことしの当初予算で計上しておりました施設の解体設計分が本年度622万6,000円という部分で計上させていただきましたので、その分で11万3,000円ほど増額となっているとい

う部分がありましたので、その分が大きな増の理由でございます。本年度と同額というような考え方で予算を計上させていただきました。

287ページをお願いいたします。

議案第47号「平成31年度柳津町農業集落排水事業特別会計予算」でございます。

総額といたしまして歳入歳出それぞれ9,560万円とするものでございます。一時借入金については、1,900万円と定めるものでございます。

290ページをお願いいたします。

歳入、総括となります。本年度と比較いたしまして1,060万円の増、その中で多いのが繰入金でございます。これは一般会計繰入金でございます。

次のページをお開きください。

歳出となります。総務費で1,058万6,000円がふえております。これにつきましては、郷戸地区の農業集落排水事業のエリア内で新しく家を建築したいという方がいらっしやいまして、そこまで今ある下水の本管を延長しなければならない、約90メートルほど延長しなければならないというふうになりましたので、その分で922万5,000円ほど増額となるという部分が、総務費の増額の大きな理由となったところでございます。

続いて、308ページをお願いいたします。

議案第48号「平成31年度柳津町下水道事業特別会計予算」でございます。

歳入歳出それぞれ7,200万円と定めるものです。一時借入金については、1,400万円と定めるものでございます。

311ページをお開きください。

分担金及び負担金については、本年度と同様です。使用料については、若干本年度の実績を勘案いたしまして、なおかつ消費税分を勘案いたしまして172万6,000円の増となっております。繰入金、諸収入について歳入を見込ませていただいたところでございます。

これにつきましては歳出のほうで申し上げますと、次のページになりますが、歳出となります。

総務費で829万2,000円ほどの大きな増額となっておりますが、これにつきましては、人件費の組み替えの関係、人が変わったということがございますので、昨年職員1名退職をしております。そこに新たな職員を配置しておりますので、その職員との給料の差額と言われるもので251万3,000円の分が出てまいっております。それと修繕費といたしまして、マンホールポンプの修繕という部分がございます、それで234万7,000円ほど増額となります。あ

わせまして、今回県のほうから、銀山川の改修工事に伴う下水管の布設がえが必要となるのでその設計をしていただきたいというような部分で申し入れがあるという部分でございまして、その設計委託分として250万円を見させていただきました。なお、その250万円については、歳入の諸収入で県のほうからいただきたいという部分で250万円をとらせていただいたというところでございます。それに伴います増としては、今言ったように県のほうからいただくものと使用料での増、それで足りないものについては一般会計から繰り入れをするという考え方でございます。

328ページをお願いいたします。

議案第49号「平成31年度柳津町簡易排水事業特別会計予算」でございまして。

歳入歳出それぞれの総額を210万円とするものでございまして。一時借入金については、50万円と定めるものでございまして。

331ページをお願いいたします。

簡易排水事業については、本年度と大きな差異はございませんが、40万円ほど減額となっております。それにつきましては、使用料の見込みで7万3,000円ほどの減、繰入金で32万7,000円の減となっております。

次の332ページになりますが、歳出にいきまして、総務費で39万1,000円と減っておりますが、これは修繕費で40万円ほど予定がございませんでしたので減額をさせていただいたという部分で、それが大きな理由でございまして。

続きまして、最後となりますが338ページをお願いいたします。

議案第50号「平成31年度柳津町林業集落排水事業特別会計予算」でございまして。

歳入歳出それぞれ280万円と定め、一時借入金については50万円と定めるものでございまして。

341ページをお願いいたします。

林業集落排水につきましても、分担金及び負担金、加入については1件は見込みたいという部分で1件を見込ませていただきました。使用料につきましては、本年度の実績を勘案いたしまして1万5,000円の減となります。繰入金につきましては、歳出のほうで修繕費の減額がございましてそれに伴う繰入金の減でございまして。

次のページ、歳出となります。

総務費で230万3,000円の減額となっておりますが、これにつきましては本年度、久保田のマンホールポンプの修繕というのがございまして253万円ありましたので、それが減の大き

な理由でございます。なお、公債費につきましては、起債等の償還が減ってまいりましたので184万円の減というところでございます。

以上で平成31年度の当初予算の補足説明を終わらせていただきます。

よろしく願いいたします。

○議長

これから質疑に入りますが、この総括質疑については、ただいま説明のありました平成31年度予算の全般的な事項について、基本的には款、項、目までとし、節以下については、あしたからの予算特別委員会で質疑を行いたいと思いますので、ご協力のほどお願いいたします。

それでは、これより質疑に入ります。

（「質疑なし」という声あり）

○議長

これで質疑を終わります。

お諮りいたします。

議案第40号から議案第50号までの平成31年度柳津町歳入歳出予算については、議員10名で構成する予算特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、議案第40号から議案第50号、平成31年度柳津町歳入歳出予算については、予算特別委員会に付託して審査することに決定いたしました。

予算特別委員会の正副委員長の互選であります。議長において指名することにしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

それでは、指名いたします。

予算特別委員会委員長に総務文教常任委員長の田崎信二君、副委員長に産業厚生常任委員

長の齋藤正志君を指名いたします。

なお、本予算審査に当たり、町長、副町長、教育長、課長等及び班長の出席を求めます。

◇ ◇ ◇

◎休会の議決

○議長

お諮りいたします。

本日、これより3月15日午前10時までを予算審査のため休会といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本日、これより3月15日午前10時までを休会とすることに決定しました。

◇ ◇ ◇

◎散会の議決

○議長

お諮りいたします。

本日はこれをもって散会いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本日はこれをもって散会いたします。

なお、あすからの予算特別委員会は本会議場において午前9時から行います。

長時間にわたり大変お疲れさまでございました。(午後3時14分)

